

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書

(平成22年度施策報告)

中頓別町教育委員会

はじめに

平成20年4月から「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）」の一部改正が施行され、教育委員会は毎年教育行政の事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進と町民への説明責任を果たすため、法第27条の規定に基づき、平成22年度の執行状況について点検・評価を行ったものです。

中頓別町教育委員会は、今後も町民の皆様の生涯にわたって学び続ける教育環境の整備・充実を図るとともに、子どもたちの「生きる力」を育む教育の推進に努めてまいります。

1. 教育委員会議の開催状況
2. 教育委員会の活動状況
3. 附属機関の会議の開催状況
4. 附属機関その他機関の委員名簿
5. 主要な施策に基づく点検・評価
6. 教育委員会の事務の執行状況

生涯教育・学校教育・社会教育における執行状況（別紙資料）

平成23年 8月

中頓別町教育委員会

教育委員会委員

職 名	氏 名
委 員 長	石 井 英 正
委員長職務代理者	内 田 貞 代
委 員	木 内 彰
教 育 長	米 屋 彰 一

1. 教育委員会議の開催状況

教育委員長 石井英正、職務代理者 内田貞代、委員 木内 彰、教育長 米屋彰一

開催日	議 案	協議報告事項
4月 20日	議案第1号 教育委員会事務局職員の人事について 議案第2号 中頓別町立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について 議案第3号 中頓別町就学指導委員会委員の委嘱について 議案第4号 中頓別町子どもの読書活動推進会議設置要綱について	1) 文部科学省が実施した全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果について 2) いじめ等に関する各学校の状況報告について 3) 教職員の服務規律等の実態に関する調査について
5月 19日	議案第1号 委員長の互選について 議案第2号 委員長職務代理者の指定について 議案第3号 補正予算について 議案第4号 平成22年度児童生徒就学援助の認定について 議案第5号 語学指導等を行う外国青年の給与等に関する条例の一部を改正する条例について 議案第6号 中頓別町野外レクリエーション施設の設置及び管理等に関する条例について	1) 社会教育委員会への諮問及び答申について 2) いじめ等に関する各学校の状況報告について
6月 24日	議案第1号 中頓別町野外レクリエーション施設管理運営規則の制定について	1) 平成22年度そらや自然学校経営計画について 2) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について 3) 子ども声かけ事案の発生状況について 4) いじめ等に関する各学校の状況について 5) 社会教育委員定数の見直しについて
7月 12日		1) 公有財産の所管換えについて 2) 平成21年度決算審査について 3) いじめ等に関する各学校の状況について 4) 社会教育委員定数の見直しについて
8月 18日	議案第1号 補正予算について 議案第2号 平成23年度に使用する教科用図書採択について 議案第3号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について 議案第4号 中頓別町立小・中学校の学校医の解任及び委嘱について	1) 社会教育委員定数等の見直しについて(諮問) 2) 中頓別中学校学校評議員会報告について 3) いじめ等に関する各学校の状況について 4) 宗谷管内市町村教育委員会研修会について
9月 6日	議案第1号 平成22年度全国学力・学習状況調査結果の対応について	1) いじめ等に関する各学校の状況について
10月 18日	議案第1号 中頓別町立学校管理規則の一部を改正する規則について 議案第2号 中頓別町学校給食センター管理運営規則の一部を改正する規則について 議案第3号 中頓別町当寿スキー場安全管理規程の一部を改正する規程について 議案第4号 平成22年度中頓別町文化・スポーツ表彰の決定について 議案第5号 平成23年度宗谷管内公立小中学校教職員人事異動に係る調書の作成について 議案第6号 中頓別町就学指導委員会委員の委嘱について	1) 平成21年度中頓別町各会計決算審査意見について 2) 社会教育委員定数等の見直しについて 3) いじめ等に関する各学校の状況について 4) 校長会・教頭会との懇談会について 5) 中頓別町学校経営研修会について 6) 学校訪問について
11月 24日	議案第1号 社会教育委員設置条例の一部を改正する条例について 議案第2号 中頓別町学校給食運営委員の任命について	1) 教育長専決処分の報告について(教職員人事異動調書) 2) 平成22年度全国学力・学習状況調査結果(希望利用調査)について 3) いじめ等に関する各学校の状況について

		4) 臨時技術職員(スクールバス等運転手)の退職について 5) 学校訪問について
12月 14日	議案第1号 補正予算について	1) いじめ等に関する各学校の状況について 2) 平成23年度当初予算の計上について 3) 中頓別町寿スキー場 スキーパトロール隊の依頼について 4) 平成23年成人式について
1月 18日	議案第1号 補正予算について(きめ細やかな交付金事業、住民生活に光を注ぐ交付金事業) 議案第2号 平成23年度中頓別小学校特別支援学級の開設について 議案第3号 平成23年度全国学力・学習状況調査の実施について	1) 中頓別中学校学校評議委員会報告について 2) いじめ等に関する各学校の状況報告について 3) 中頓別町寿スキー場 スキーパトロール隊の追加依頼について 4) 文化祭運営報償費の取扱いについて
2月 17日	議案第1号 平成22年度補正予算及び追加補正予算について 議案第2号 平成23年度教育執行方針について 議案第3号 平成23年度予算について 議案第4号 中頓別町教育の一元化に向けた体制について(こども館を教育委員会の所管へ)	1) 平成22年度地域活性化交付金事業について 2) 自治記念式表彰候補者の推薦について 3) いじめ等に関する各学校の状況について 4) 臨時専門職員(スクールバス等運転手)の採用発令について
3月 29日	議案第1号 中頓別町立学校管理規則の一部を改正する規則について 議案第2号 中頓別町教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則について 議案第3号 中頓別町こども館管理運営規則の制定について 議案第4号 中頓別町こども館の処務に関する規則の制定について 議案第5号 教育委員会所管職員の勤務時間の割り振りに関する規則の一部を改正する規則について 議案第6号 中頓別町教育委員会公印規程の一部を改正する規程について 議案第7号 付属機関等の委員の任免・委嘱について (1) 社会教育委員兼中頓別町文化スポーツ賞表彰選考委員の委嘱について (2) 体育指導委員の委嘱について (3) 中頓別町文化財保護委員の任命について (4) 中頓別町学校統合審議会委員の任命について (5) 中頓別町学校給食運営委員会委員の任命について (6) 中頓別町就学指導委員会委員の委嘱について (7) 学校評議員の委嘱について (8) 中頓別町特別支援連携協議会委員の委嘱について (9) 中頓別小・中学校 学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について 議案第8号 教育委員会事務局職員の人事について	1) 自治記念式表彰者の決定について 2) 平成22年度町民文化祭運営報償費の支出について 3) 認定こども園と中頓別小学校の連携の指針等を策定する検討委員会の設置について 4) 中頓別町学校・家庭・地域の連携による教育支援活動の実施について 5) 第7期総合計画策定に向けた教育関係計画の位置づけ及び策定について 6) いじめ等に関する各学校の状況報告について 7) 平成23年度教職員当初人事の内示について

※ 傍聴者なし

## 2. 教育委員会の活動状況

### (1) 学校訪問について

実施月日 平成22年12月9日10時30分から 中頓別小学校 委員4名、事務局1名

実施月日 平成22年12月9日13時30分から 中頓別中学校 委員4名、事務局1名

(2) 教育委員研修について

- ① 第47回北海道市町村教育委員研修会(札幌市)  
実施月日 平成22年7月7日～8日 委員4名、事務局1名
  
- ② 管内教育委員研修会(利尻町)  
実施月日 平成22年9月2日～3日 委員3名、事務局1名出席

(3) 教育委員会が主催、出席したその他の活動

月	各種行事・大会等
4月	自治記念式、こども園入園式、小中学校入学式、浜頓別高校入学式、着任教職員辞令交付式、高齢者教室「寿大学」入学式
5月	スポーツ少年団結団式、クリーン作戦、中頓別中学校運動会
6月	戦没者慰霊祭、鍾乳洞まつり、中頓別小学校運動会
7月	こども園運動会、町民ソフトボール大会
8月	町民パークゴルフ大会
9月	町民駅伝・マラソン大会
10月	中頓別小学校学芸会、中頓別中学校学校祭、町民文化祭、文化スポーツ賞授賞式
11月	中頓別町教育研究会、中頓別町教育講演会
1月	新年交礼会、平成23年成人式
2月	認定こども園生活発表会、学校支援地域本部成果報告会兼まちづくり生涯学習フォーラム
3月	町民スキー大会、浜頓別高校卒業式、小中学校卒業式、スポーツ少年団解団式、寿大学卒業式、こども園卒園式

3. 附属機関の会議の開催状況

(1) 社会教育委員会会議

開催日	内 容
5月12日	・町民センター運営審議会廃止に伴う機能の継承について・社会教育(体育)施設の使用実績と課題について・教育委員会からの諮問事項について
10月13日	・教育委員会からの諮問事項の協議について
3月17日	・平成22年度社会教育事業報告について ・平成23年度社会教育事業計画について

(2) 体育指導委員会会議

開催日	内 容
6月24日	・町民ソフトボール大会について・夏休みラジオ体操会について・町民駅伝、小学校マラソン大会について・総合型スポーツクラブについて
8月19日	・町民駅伝、小学校マラソン大会について・総合型スポーツクラブ育成エリアミーティング・管内体育指導委員研修会について
12月17日	・ジュニアアルペン競技大会について ・冬期スポーツ事業について ・総合型スポーツクラブについて
2月10日	・町民スキー大会運営について・歩くスキー遠足について
3月17日	・平成22年度事業報告について ・平成23年度事業計画について

### (3)文化財保護委員会議

開催日	内 容
3月24日	・平成22年度の取組み報告 ・平成23年度の取組みについて

## 4. 附属機関その他機関の委員名簿

### 附属機関

#### (1)社会教育委員兼文化スポーツ賞表彰選考委員(平成21年4月1日～平成23年3月31日) 13名

米田 泰規(社教団体)、石井 佳美(学識経験)、水澤 清二(学識経験)、角川 拓雄(学識経験)、川尻 洋(社教団体)、藤田 功(学校長)  
高山 哲也(学識経験)、側 貢(学識経験)、門野 レイ子(学識経験)、福島 靖弘(学識経験)、細川 洋子(学識経験)、橋本 壽子(学校長)

#### (2)体育指導委員(平成21年4月1日～平成23年3月31日) 10名

桜田 教昭(サッカー)、中嶋 稔幸(スキー)、伊藤 明美(スキー)、丸山 博光(柔道)、小原 利春(軽スポーツ)、丸田 史代(クロカン)  
福島 靖弘(バスケット)、古谷 裕一(スポーツ少年団)、椎名 誠(学校推薦)、山本 民(学校推薦)

#### (3)文化財保護委員(平成21年4月1日～平成23年3月31日) 4名

大場 豊、真鍋 勝司、三浦 陽一、川尻 洋、上浦 裕司

#### (4)学校統合審議会委員(平成22年4月1日～平成24年3月31日) 6名

橋本 壽子(小学校長)、藤田 功(中学校長)、細谷 陽一(中小PTA会長)、桑原 政美(中中PTA会長)、水澤 清二(学識経験)、高橋恵美子(学識経験)

#### (5)学校給食運営委員会委員(平成22年9月1日～平成24年8月31日) 7名

橋本 壽子(小学校長)、藤田 功(中学校長)、細谷 陽一(中小PTA会長)、桑原 政美(中中PTA会長)、高橋 憲一(学識経験)、高橋恵美子(学識経験)  
遠藤 義一(町行政機関職員)

### その他機関

#### (1)就学指導委員会委員(平成21年4月1日～平成23年3月31日) 10名

藤田 功(中学校長)、荒木 謙蔵(民生委員会長)、伊藤 斉(国保病院)、橋本 壽子(小学校長)、高橋恵美子(主任児童委員)、佐藤 郁彦(小学校教頭)  
石川 篤(保健福祉課長)、山田 美緒子(保健福祉G主査)、平中 静江(こども館長)

#### (2)学校評議員(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

中頓別小学校 5名 丸山 博光、田辺 毅、細谷 陽一、高橋恵美子、村山 義明  
中頓別中学校 5名 伊藤 祐一、杉木 誠吉、佐藤 文一、古谷 裕一、桑原 正美

#### (3)特別支援教育連携協議会委員(平成22年4月1日～平成24年3月31日) 15名

大場 弘(社会福協議会長)、荒木 謙蔵(民生委員協議会長)、千葉 辰雄(厚生園施設長)、七海 敏勝(手をつなぐ親の会)、米屋 彰一(教育長)  
橋本 壽子(小学校長)、藤田 功(中学校長)、佐藤 郁彦(小学校教頭)、石川 智(中学校教頭)、平中 静江(こども館長)、山田 美緒子(保健福祉G主査)  
柴田 弘(教育委員会)、藤井 富子(教育委員会)、笹原 等(教育委員会)

## 5. 主要な施策に基づく点検・評価

### (1) 点検・評価の項目

点検・評価は平成22年度教育行政執行方針に基づく具体的な推進施策としています。

#### 1 生涯学習の推進

ア. 「中頓別町まちづくり・生涯学習推進計画」の推進 イ. 活動拠点の整備 ウ. ネットワーク化した学びの提供 エ. 人材の育成 オ. 情報提供 カ. 学社融合

#### 2 学校教育の推進

ア. 確かな学力の向上 イ. 豊かな心の育成 ウ. 健やかな体を育む エ. 信頼される学校づくり オ. 児童生徒の安全対策 カ. 幼児教育 キ. 特別支援教育

#### 3 社会教育の推進

ア. 学習活動 イ. 文化活動 ウ. 文化財の保護 エ. 社会体育

### (2) 点検・評価の方法

点検・評価にあたっては、施策・事業の内容と実績、成果と課題等を示しています。

内部による点検・評価と、学識経験を有する者の外部評価を行っています。

### (3) 点検・評価結果の構成

#### 1 評価対象

「平成22年度中頓別町教育行政執行方針」の主要な施策3項目ごとに点検・評価を行っています。

#### 2 事業内容・実績等

各項目の目標達成に向けて、主に取り組んだ事業内容、実績等を示しています。

#### 3 成果・課題等

事業の実施に伴い、教育上効果があった内容、成果および課題等を示しています。

#### 4 内部評価 第1回 平成23年6月1日、第2回 平成23年7月19日(小学校・中学校)

目標に対し、取り組みの進捗状況などをふまえ、1～4の4段階で評価を行っています。

(評価判断基準) 4・・・目標通り又は目標以上の成果が得られた。

3・・・概ね目標が達成できた。

2・・・課題を残し、目標も十分達成できなかった。

1・・・具体的に成果がなかった。

#### 5 外部評価 平成23年7月29日

目標に対し、取り組みの進捗状況などを踏まえ、学識経験を有する者が、総合的な意見として評価を行っています。

外部評価委員会 委員長 米津英男、副委員長 朝日忠則、委員 佐藤一彌、田邑正憲、高橋恵美子 5名

□ 評価結果

項目	事業内容・実績等	成果・課題等	内部評価	外部評価(総合意見)
1 生涯学習の推進	1 「中頓別町まちづくり・生涯学習推進計画」の推進			
生涯学習は、人々が生涯にわたって行う学習活動で、子どもから大人まで誰もがあらゆる機会において学び自己実現を図りながら生きがいのある人生をおくるとともに、その成果が適切に評価され地域づくりに活かすことができる学習社会の実現を目指します。	(1) 推進チーム会議の開催 まちづくり生涯学習推進計画を推進するため、会議を年5回(6月14日、9月10日、11月19日、2月18日、3月10日)開催しました。	年度当初の計画どおりに事業の開催及び会議が開催されました。 評価と見直しのしくみづくりが今後の課題となっています。	2.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの事業や行事が沢山あるが、参加しているものは少なく、分からない面が多い。</li> <li>いろいろな情報は発信されてきているが、もう少し工夫も必要ではないか。</li> <li>図書室の活用では、学校との交流を持ち、子供たちにとって本の選択できる範囲が増えることが望ましい。</li> <li>戦争や兵隊を経験した人が書いた本は、平和教育につながり、現代のこどもの教育にも共通して行く。</li> <li>そうや自然学校の運営状況が見えてない面もあるが、今後も地域等協力を得てすすめて行くことが肝要である。</li> </ul>
	(2) 生涯学習フォーラムの開催 1年間の活動の成果を発表するため、学校支援地域本部事業成果報告会と兼ねて、2月25日に開催しました。	事務局からの報告、各学校の事例発表、講話、意見交換が活発に行われ、3年間実施した学校支援地域本部事業の集大成となりました。	3.3	
	(3) 本部会議の開催 3月18日に開催しました。	1年度間の事業の反省及び次年度の事業計画について協議しました。年1回の定期的な開催を確認しました。 構成員の再構築が課題となっています。	3	
	2 活動拠点の整備			
	(1) 町民センター 町民の生涯学習活動の場として、文化団体(詩吟、茶道、カラオケ等)や社会教育事業、講演や学習会等の活動が展開されました。使用状況は、昨年度と比較して、件数及び人数で減少しています。	活動拠点の場としての各団体・サークルの使用が少ないため、意向を把握し、使いやすい施設を目指します。館内全体の冬期間の暖房対策が課題となっています。厳寒期はどうしても寒く感じますので、できるだけ、早めに暖房をつけて対応していきます。	3	
	(2) 図書室 読書活動の場として有効に機能しています。年間貸出冊数は、一般で4,708冊、小学生で2,365冊と、昨年比で増加しました。町民ひとり当たりの貸出冊数も3.76冊と前年度を若干上回りました。	交付金事業で、書架を整備し、開放的な空間とより親しみやすい環境を整えることができました。 図書室事業の年次計画を作成し、子ども読書プランを推進していくことが課題になっています。 今後も、読み聞かせボランティアと連携し、図書室事業や利用促進につなげてきます。	3	
	(3) そうや自然学校 まちづくり生涯学習の活動の場として、子どもから大人まで、沢山の町民や町外の方に利用されました。	こども館事業のポレポレ探検隊や森遊び、小学校の学校レク行事、子どもを対象とした中頓別いいところ探し隊・森もりキャンプ、町外の小学校や少年団の受け入れなど、子どもから大人まで、述べ1,569人の方々の利用があり、地域や関係機関の支援のもと、地域の資源を活用したまなびの場を提供してきました。	3	
	3 ネットワーク化した学びの提供			
	(1) なかとんべつカレッジ 町内の様々な団体・グループ等が取り組む学びを講座として紹介し、誰でも学びたいという意思があれば、自由に学びたい講座を選び学ぶことができる仕組みとして、4月に全戸配布をしました。	町内の情報を1冊の冊子として町民に周知することにより、生涯学習を推進しているが、今後健康カレンダーとの統合が課題となっています。	3	

4 人材の育成		
(1)生活職人 そうや自然学校や地域行事及び学校事業等のサポーターを生活職人として登録し、様々な機会でご活躍いただいています。	平成23年3月末で、食の職人4団体10名、自然体験の職人4団体27名、文化スポーツの職人5団体32名の登録があります。 年々登録数は増加傾向にあります。	3.5
(2)地域文化を担う 地域の豊かさに学び、地域のあるものを活かしたまちづくり・生涯学習を推進するため、地域の自然環境・文化等をテーマに、町民講座「なかとんべつ学」を開設し、年間6回開催しました。	草花、鍾乳洞、神社など、浅く広いテーマでなかとんべつ学を開催しました。今後は、テーマを絞り深く掘り起こすことが課題となっています。	3
5 情報提供		
(1)「生涯学習だより・ホットな情報通信」による学習情報の提供 生涯学習事業の報告として、年間7回掲載しました。	生涯学習団体の取り組み紹介などを紹介し、町内の生涯学習活動をわかりやすく紹介する工夫が課題となっています。 また、掲載内容について計画的に情報を掲載することも課題になっています。	3
(2)インターネットによる情報の提供 教育委員会HPで、広報なかとんべつお知らせ版に掲載した情報を随時お知らせとして掲載しています。	習慣化を図り、継続した取り組みとしていくことが課題となっています。	2.5
6 学社融合		
(1)生活職人の活用 小学校への支援が15回述べ57名、中学校への支援6回述べ6名が学校を支援いただきました。	地域行事などでの活用がほとんどなく、学校授業に特化した取り組みとなっています。生活職人のしきみを広く紹介することが課題となっています。	3.3
(2)北海道教育大学との連携 小学生を対象とし、3名の学生のボランティアのもと、8月7日～10日までの4日間、夏休み学習サポート事業を実施しました。	1年生から6年生まで述べ36名の参加者がありました。参加者から、勉強が進んだ、家で学習するよりみんなであるほうが良かった、また来年も実施してほしいとの声がありました。次年度以降も継続した事業として位置づけることが課題です。	3.3

項目	事業内容・実績等	成果・課題等	内部	外部評価(総合意見)
2 学校教育の推進 子どもたちが主体性を発揮して、生きる力を形成するためには、心と体、知識や技能の調和が重要視されており、それらを支える最大の環境は、身近に存在する教師であり、親であり、地域の人たちであります。このため、生活の基盤となる、学校・家庭・地域がそれぞれに教育力を発揮し、三者が一体となった教育の展開を目指し地域に開かれた「信頼される学校づくり」に取り組みます。	1 確かな学力の向上			
	(1)学力改善プランの充実 全国学力・学習状況調査の結果を中核としながら、教育活動全体の結果を踏まえて、学校全体として「学校改善プラン」を策定しました。	小学校 単純な比較はできませんが、特に算数については引き続き、基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、活用する力を伸ばしていく指導の充実を図る必要があります。 中学校 「確かな学力」を保障するため、教育課程の工夫、学習指導の工夫改善と学習支援体制の確立、校内研修の推進の3重点目標を設置し、生徒一人ひとりにきめ細やかな指導支援を推進します。	3	・ 子ども達はあいさつをしっかりとってくれる。道路横断の際も会釈をしっかりとする子が多く大変よいことである。 ・ 自転車の乗り方でマナーの悪い中学生がいる(2列、3列で乗っている)ので指導が必要と感じる。
	(2)家庭における食生活の啓発 給食時間や教科等の活動についての情報の提供するとともに、朝食をしっかりとるように協力を求めました。	小学校 家庭家などの授業において、TTの指導体制をとり、児童への指導を充実させるとともに、活動の様子を家庭に情報提供してきました。 中学校 「早寝・早起・朝ごはん」を意識し、保健だより等での啓発を行ってきましたので、継続した啓発が必要です。	3.3	・ 不審者対応のことも考えなければならないが、今後も地域の人が訪問しやすい学校運営に心がけてほしい。
	(3)家庭における学習習慣の定着 小学校 低学年30分、中学年60分、高学年90分の家庭学習をするなど、家庭に協力を求めてきました。 中学校 各教科における学習指導を紹介する「学習のすすめ2010」を作成し実践してきました。	小学校 継続した取り組みが必要です。 中学校 年度当初に全体オリエンテーションを実施しましたが、1度では十分でなく、節目を設定した実施が必要です。1週間を家庭学習を振り返る「LB(ルックバック)シート」を形骸化が見られ、方法及び内容の見直し改善が必要です。	2.5	・ 中小の【保護者による教育活動アンケートの結果と分析】で「ねばり強くやりぬく子に育っていると思いますか」の項目に対する評価が低い気になります。今後の課題とします。
	(4)新学習指導要領実施に向けた対応 小学校 新学習指導要領の実施に向けて、新教育課程を適切に編成しました。 中学校 教育課程編成にかかわる校内研修を通じて、編成の手順や方法についての共通理解及び確認を行いました。	小学校では平成23年度、中学校では平成24年度からの完全実施に向けて、教育課程の編成と授業時数の確保を着実に進めています。	3	
	(5)中頓別町教育研究会の支援 各学校における教育目標や経営方針に基づいた質の高い指導を行うため、教職員の資質向上を図ることを目的に設置されている町教育研究会へ研究活動に要する経費を支援しました。	「地域に根ざし、人間性豊かな児童生徒を育てる教育を創造する。」を研究主題として1年間実践研究を行いました。また、今年度は新たに小中連携委員会を設置して小中連携に向けた課題の洗い出しを行ったところであり、次年度以降、9年間を見通した指導の実践について議論を深めていくこととしております。1年間の研究活動の成果は「研究集録」として報告を受けました。	3	
	(6)各学校の環境整備 教育環境を充実させるため、学校から要望が上がった教材、備品等の整備充実にも努めました。	可能な限り、学校要望を重視し、教育環境を充実させるため、必要な教材や備品の購入に努めてまいります。	2.6	
(7)教材の工夫などによる「楽しい・分かる授業」の推進 小学校 問題解決的な学習を中核として、子どもたち自身が自ら考える授業を構築するように努めてきました。また、体験的な学習を多く取り入れることによって、楽しい授業をするように努めてきました。 中学校 習熟度別学習、TT指導など、生徒の実態に応じた様々な指導方法による授業実践に努めてきました。	小学校 よく考え、やりぬく力を身につけるため、自分の思いや考えを表現したり、説明できる力をつける指導の工夫のため、体験的な学習を中心に成果が表れるよう努めています。 中学校 生徒「授業アンケート」において「授業はたのしい」「授業は、学習した内容がよく分かる」と70%以上の生徒が回答しています。さらなる「授業力」向上に向けた実践的研修の充実を図っていきます。	3		

項目	事業内容・実績等	成果・課題等	内部	外部評価(総合意見)
	(8)英語指導助手による小学校・中学校の英語教育 小学校 英語活動で6年生36時間、5年生35時間、総合的な学習の時間で4年生・3年生15時間、生活で1年生・2年生6時間、実施しました。 中学校 選択英語((コミュニケーション英語)及び必修授業において活用を図りました。	小学校 英語指導助手と逐一連絡を取りながら、どのように授業を進めるかを検討しました。また、担任と英語指導助手の役割をはっきりさせた授業を展開するように工夫してきました。 中学校 生徒の学習への意欲向上及びコミュニケーション能力の向上につながっています。	3.5	
	(9)英語指導助手によるこども園との交流 毎週火曜日、認定こども園の年長児を対象に10時から11時まで、児童クラブを対象に15時30分から16時30分まで「ポーセン先生と英語であそぼう」を行っています。	子どもたちは、週1回の「ポーセン先生と英語であそぼう」を楽しみにしています。また、その成果を2月の生活発表会で披露しています。	3.2	
	2 豊かな心の育成			
	(1)命の大切さや思いやりの心を育む道徳教育の充実 小学校 道徳の時間、各教科・外国語活動・総合的な学習の時間及び特別活動における指導、家庭・地域社会・他の学校や関係機関との連携により教師が児童の人間的な成長を見守り、児童自身が自己のよりよい生き方を求めていく努力を評価し、それを勇気づける働きを持って対応してきました。 中学校 道徳の時間を要として、教育活動全体を通じて計画的に実施してきました。全教師が共通の課題認識を持って、書いたり討論させるなど、自分の考えを深め、成長を実感できるような指導を重視してきました。	小学校 教育活動全体を通じて、道徳教育の充実に努めてきました。特に性教育については、計画的に取り組み、命の大切さを理解するよう取り組みました。 中学校 毎月「学校生活アンケート」を実施し、いじめ等の実態把握に努め、いじめ等への事前指導に役立てています。道徳の題材や資料の工夫など、一層の充実に努める必要があります。	3	
	(2)読書に親しむことができるよう学校図書活性化 小学校 本の陳列や紹介を工夫することによって、子どもたちが少しでも本を読みたくるよう読書環境の整備に努めました。 中学校 図書の配置を変えたり、新刊案内やオススメ図書などをピックアップするなど、生徒が利用しやすい環境の改善に努めました。	小学校 学級文庫の充実に努めるために、図書室の学級との本の入れ替えを定期的に行いました。町図書室のボランティアサークルの方の支援をいただき、休み時間に読み聞かせを行いました。 中学校 町図書室ボランティアの助力を得ながら、学校図書室の整備ならびに図書の整理を実施することができました。生徒も図書室を利用するようになり、今後も図書室の利用促進に努めています。	3	
	(3)豊かな情操を育む読書活動の推進 小学校 火曜日、金曜日の朝15分間を全校一斉読書の日として取り組みました。 中学校 毎朝10分間を「朝読書」の時間として日課表に位置づけ、学年部教師も一緒に取り組みました。	小学校 週2回の朝読書を勧めるとともに、町図書室の読書ボランティアによる読み聞かせを定期的に行い、読書に親しむことができます。 中学校 朝読書を通して、落ち着いた雰囲気の中で1校時目の授業に臨むことができます。また、朝の会でブックトークの取り組みとして、内容の紹介や見どころなどの発表を行っています。	3.3	

項目	事業内容・実績等	成果・課題等	内部	外部評価(総合意見)
	<p>3 健やかな体を育む</p> <p>(1)学校体育や行事等を通しての体力の向上 小学校 体育の授業はもちろんのこと、町の駅伝マラソン大会などの行事を通して、体力向上に努めました。 中学校 地域、保護者と連携し、運動部活動の充実、宗谷地区中体連の参加、駅伝大会への自主的参加など体力向上繋がる行事へ積極的に参加してきました。</p> <p>(2)栄養教諭を中核とした食に関する指導、家庭と連携した食育推進 小学校 家庭・地域の連携・協力しながら、食育推進のための実践的な取り区を行いました。 中学校 栄養教諭及び養護教諭との連携のもと、学校給食における指導の一致を図るなど規則正しい食習慣の育成に努めました。</p> <p>(3)健康教育の推進 小学校 日常的な健康観察の継続により、自分の生活を見つめる観点を意識させるため、「心とからだのおはよう調べ」を取り組みました。また、発達段階に応じた「生活のめやす」づくりと自己点検により、生活リズムの確立を図ってきました。 中学校 家庭や地域の関係機関との連携を強め、基本的な生活習慣を定着させるとともに、健康安全指導の充実を図ってきました。</p>	<p>小学校 運動会後から体力づくりや持久力育成のため、取り組んでいる駅伝・マラソン大会で児童が全員完走する目標をもって取り組みことができました。 中学校 地域、保護者と連携し、教職員の指導の下、体育的行動や運動部活動の充実を図ることができました。</p> <p>小学校 食育を指導計画の全体計画に入れ、学級活動で2時間の時間を設けたほか、PTA専門部による親子料理教室を通して、食育推進の実践的な取組を行ってきました。 中学校 様々な教育活動の中での位置づけや指導計画の整備が不十分であるため、整備が必要となっています。</p> <p>小学校 おはよう調べを日常的に取り組むことによって、自分の健康を考えるきっかけとなっています。「生活のめやす」の自己点検により、起床から就寝、家庭学習、テレビ・ゲームの時間の改善がはかられています。 中学校 警察による薬物乱用防止教室や旭川医大生による健康学習、歯科衛生士による講和などを実施し、知識や意識を高めることができました。</p>	3.3   3  3	
	<p>4 信頼される学校づくり</p> <p>(1)学校だよりで学校教育活動などの情報提供 学校だよりの定期発行(月1回)や学級だより、保健だより等で、児童生徒の活動の様子や教育情勢等を保護者や地域住民に情報提供しました。</p>	<p>学校や児童・生徒の様子を保護者や地域住民にしっかり伝えることができ、開かれた学校づくりに貢献しています。今後も継続して発行し、学校や児童生徒の様子を提供します。</p>	3	
	<p>(2)学校評議員などの意見提言を教育実践や学校経営に生かす 小学校 「中小を考える懇談会」をPTA、学校評議員、社会教育関係者、中学校を交えて3月に開催し、平成23年度の新学習指導要領の移行期間中の取組報告や率直な意見交換を行いました。 中学校 学期ごと(年3回)の学校評議員会を開催し、学期を振り返って、学校の状況や成果と課題などの意見交換を行いました。</p>	<p>小学校 今年度変更・改善した行事等、PTA活動、総合的な学習の時間、次年度の学力向上・心・健康体力づくりの取り組みについて話し合わせ、それぞれ率直な意見が出されました。今後の教育計画に反映するよう努めます。 中学校 確かな学力の定着、研修の充実、内・外に開かれた学校、生徒会活動、PTAとの連携、学校評価などについて評議員から意見をいただき、学校経営の見直しに役立てています。</p>	3	

項目	事業内容・実績等	成果・課題等	内部	外部評価(総合意見)
	(3)学校、家庭、地域がともに学校運営への連携 小学校 中小の教育を考える懇談会を開催し、学校評議員を含め、家庭や地域の方々など多方面の方から、学校運営について意見を聞く機会をつくりました。 中学校 保護者の学校に寄せる関心や期待は大きなものがあり、PTA活動等へ積極的に関与しています。また、旭台自治会との協力関係を築いています。	小学校 地域や家庭の協力があって、様々な体験活動ができ、豊かな心が育っています。 中学校 保護者や地域に対しては、公開授業、学校評議員会の開催や生徒・保護者アンケートの実施、学校評価アンケートの公開を行ってきました。また、学校評価委員会を開催し、学校関係者評価を実施しています。	2.8	
	(4)学校支援地域本部事業の充実 総合的な学習の時間や課外授業など、生活職人の方々と関わりながら学習を進めることができました。	学校支援地域本部のコーディネーターの支援により、地域の教育力を活用することができました。地域ボランティア(生活職人)の方々も快く協力していただき、学校も感謝しています。	3.6	
	5 児童生徒の安全対策			
	(1)安全な生活環境を維持のための連携 小学校 月1回の安全点検日(校舎の様子について)や遊具点検など、児童が安全に学校生活を送ることができるように努めてきました。 中学校 毎月始めに校舎内の「安全点検」を実施し、通学における安全確保に努めてきました。	児童、生徒の安全を守り、学校教育の円滑な運営を可能とするため、毎月の点検が実施されており、学校の信用、信頼を保つことができている。しかし、中学校の校舎が築43年が経過し、老朽化による不具合は否めません。	2.8	
	(2)安全学習、危機管理体制の充実 小学校 青空教室などを通して、児童が自分の命を守ることができるように指導してきました。校外生活においては、情報を素早く流し、適切に対応ができるようにしてきました。 中学校 交通安全教室の実施及び街頭指導を定期的実施し、通学の安全確保に努めました。	それぞれの学校では、マニュアルに沿った児童、生徒に対する安全教育(安全指導、安全学習)、管理者としての学校安全(児童・生徒管理、施設・設備管理)、危機管理の徹底が図られ、特に大きな事故もありませんでした。	2.8	
	6 幼児教育			
	(1)中頓別町の教育の一元化の検討 昨年6月に教育の一元化に向けた庁内検討委員会を設置し、幼児教育と学校教育との連携・接続が円滑に行われるよう検討を進めてきました。	平成23年度からこども館を教育委員会の所管としたことにより、幼児期から小学校へと子どもの教育の連続性を強化していくこととしております。今後、こども館と小学校との連携をより具体的なにするため、連携の指針を策定することとしています。	3.2	
	7 特別支援教育			
	(1)特別支援教育連携協議会の支援体制の充実 学習会や講演会等に職員を積極的に参加させ、特別支援教育に対する研修を深めてきました。	平成22年度特別支援学級の開設はありませんでした。年間事業計画にもとづき、役員会、協議会、講演会、視察研修、情報交流が行われ、関係者の積極的な参加により、横断的な連携が図られています。	3	
	(2)特別支援教育支援員の配置 学校での学習や生活の面で特別な支援が必要な児童生徒に対して適切な指導を行うため支援員を配置しました。平成22年度は学校からの要請に基づき中頓別小学校に配置しました。	北海道が行う「パートナーティーチャー派遣事業」により派遣される稚内養護学校の先生と連携しながら、特別な支援が必要な児童生徒に対し、より効果的な指導を行い、学習効果を高めることができました。	3	

項目	事業内容・実績等	成果・課題等	内部評価	外部評価(総合意見)
3 社会教育の推進	1 学習活動			
社会教育は、個人の要望に応じた学習支援だけのものにとどまらず、社会の要請に基づく学習支援の形成を目指し、国民や地域住民として対処する事が必要な課題についての学習、また、地域の課題を解決する活動等に地域住民の参加を促しながら効果的に推進することが望まれております。このため、学校、家庭、地域が連携しながら様々な学習、体験活動の機会を充実させ「学びを支援する環境づくり」と「まなぎから生れる人づくり・生きがいくづくり・まちづくり」に努めます。	(1) 学びのネットワークの構築 町内で活動している団体やサークルの活動を把握し、ネットワーク化を図るため、まちづくり・生涯学習推進チーム会議が中心となり、情報の収集を行いました。	今後とも収集した情報を、広報を通じて紹介することや、各団体などのまちづくり・生涯学習を支援するしくみづくりが課題となっています。	2.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鍾乳洞ジオパーク構想との関係もあるが、未公開の洞窟をどのように紹介していくのか検討が必要。</li> <li>・ 本物の文化、芸術等に触れる機会は大切であるので、今後も継続してほしい。</li> <li>・ 成人式を工夫してはどうでしょうか。例えば、二十歳の方を中心に、10歳、40歳の方にも参加してもらうなど。</li> <li>・ 「記憶遺産」という言葉が注目されている。昔の記憶に基づいて記録されているものは適切に保存して行くことが大切で、後世に引き継がれるようにしていくことが重要。</li> </ul>
	(2) なかとんべつカレッジの開設 町内の様々な団体・グループ等が取り組む学びを講座として紹介し、誰でも学びたいという意思があれば、自由に学びたい講座を選び学ぶことができる仕組みとして、4月に全戸配布をしました。	町内の情報を1冊の冊子として町民に周知することにより、生涯学習を推進しているが、今後健康カレンダーとの統合が課題となっています。	2.8	
	(3) 生活職人との連携による学校支援地域本部事業の推進 学校と地域を、地域コーディネーターが結び、様々な学校支援活動が実施されました。	3年間の事業成果として、生活職人が学校と関わることにより、教育力の向上が図られました。また、子ども達も直接生活職人から学ぶことで、地域への愛着が芽生えてきたと感じられるようになりました。	3.8	
	(4) 子育てメソッド事業の普及 就学時知能検査時に子育て支援への情報提供を2回実施しました。	事業を実施したばかりのため、今後様々な意見などを受け、子育てをする親への支援を行うことが課題となっています。	2.5	
	(5) ブックスタート事業の充実 乳児検診時の空き時間を利用して、年間4回実施しました。	いきいきふるさと推進事業との連携により、読み聞かせボランティア「このゆびとまれ」の協力のもと、丁寧な取り組みとしていくことが課題となっています。	3	
	(6) 読み聞かせボランティアの再構築 読み聞かせボランティア「このゆびとまれ」として、新たにボランティア組織が構築されました。	ボランティアの取り組みとして、小中学校の図書室整備や読み聞かせなどの活動が活発になってきました。今後も、ボランティアが活動しやすいようなサポート体制を構築することが課題となっています。	3.8	
	(7) 子どもを中心に町民が自主的に読書活動する環境づくり 中頓別町子ども読書プランが策定され、計画を推進するための組織化を行いました。	推進会議を1回、担当者会議を3回開催しました。子どもの読書活動推進のため、関係団体及びボランティアとの連携で読書活動する環境づくりを推進していくことが課題です。	3	
2 文化活動				
(1) 各文化団体の自主的な芸術文化活動の支援 日々の取り組みの発表の場として、平成22年度から文化団体と一緒に、文化祭の取り組みを実施しました。	団体個人に限らず、より文化活動を推進する体制として、実行委員会を組織し、町民文化祭を開催することが課題になっています。 また、個人の取り組みに対しても、情報を収集し、どのような支援ができるのかを検討することも課題となっています。	3		

項目	事業内容・実績等	成果・課題等	内部評価	外部評価(総合意見)
	(2)芸術文化鑑賞事業の推進 プロの和太鼓奏者を招聘し、町民文化祭に合わせて開催しました。	地域柄、本物の芸術文化に接する機会が少ないことから、開催内容、開催時期など、文化団体個人からの意見を踏まえ、開催することが課題となっています。	3	
	3 文化財の保護			
	(1)文化財の状況の把握とその保護活用 3月24日に文化財保護委員会を開催しました。	案件がなければ会議を開催していませんでしたが、平成21年度からは年1回会議を開催し、文化財の把握とその調査を実施してきました。今後、継続した取り組みが課題となっています。	2.8	
	4 社会体育			
	(1)スポーツ少年団への支援 剣道(10名)、野球(10名)、卓球(16名)、柔道(10名)の4スポーツ少年団の結団式及び体力テスト会を5月8日、秋の体力テストを10月16日、解団式を3月19日に行ないました。	指導者の協力のもと、子どもたちはスポーツを通して、健康な体と心を養い、ルールを守り、他人に迷惑をかけない人間となるよう努めています。小学生では、47名の加入で加入率48%となっています。	3	
	(2)各種スポーツ大会への支援 南宗谷家庭婦人バレーボール大会5月23日、体育の日記念バレーボール大会10月14日～21日、秋季南宗谷バレーボール大会11月7日の支援を実施しました。	スポーツ振興のため、各スポーツ団体の活動状況を把握し、どのような支援ができるのか検討することが課題となっています。	2.5	
	(3)総合型スポーツクラブの可能性 体育指導委員会を中心に可能性について協議しました。DVD鑑賞2回、エリアミーティング1回の開催を行いました。	総合型スポーツクラブの認知度を高め、設立に向けたその可能性を検討することが重要となっています。 今後、先進地視察や、他団体との協力し、設立に向け協議を進めることが課題となっています。	2.8	

## 6. 教育委員会の事務の執行状況

生涯学習、学校教育、社会教育における執行状況（別紙資料）

項 目	主 要 な 施 策	成 果																																																																																																																																																
総務学校教育	小中学校 児童・生徒・教員数	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分 学校名</th> <th rowspan="2">へき地級</th> <th rowspan="2">学級数</th> <th rowspan="2">男女別</th> <th colspan="7">教 員 数</th> <th colspan="2">職 員 数</th> <th colspan="7">学 年 別 児 童 ・ 生 徒 数 内 訳</th> </tr> <tr> <th>校長</th> <th>教頭</th> <th>教諭</th> <th>養護教諭</th> <th>栄養教諭</th> <th>講師</th> <th>計</th> <th>事務職員</th> <th>用務員</th> <th>計</th> <th>学級区分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">中頓別小学校</td> <td rowspan="2">2</td> <td rowspan="2">6</td> <td>男</td> <td></td> <td>1</td> <td>3</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>5</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>単式学級</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>17</td> <td>19</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>1</td> <td></td> <td>5</td> <td>1</td> <td></td> <td>7</td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中頓別中学校</td> <td rowspan="2">2</td> <td rowspan="2">3</td> <td>男</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td>7</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>単式学級</td> <td>12</td> <td>17</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td></td> <td></td> <td>4</td> <td>1</td> <td></td> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>2</td> <td>17</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>24</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>141</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(平成22年5月1日現在)</p>	区分 学校名	へき地級	学級数	男女別	教 員 数							職 員 数		学 年 別 児 童 ・ 生 徒 数 内 訳							校長	教頭	教諭	養護教諭	栄養教諭	講師	計	事務職員	用務員	計	学級区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	中頓別小学校	2	6	男		1	3		1		5		1	1	単式学級	15	15	17	19	15	15	96	女	1		5	1		7	1		1											中頓別中学校	2	3	男	1	1	5			7	1	1	2	単式学級	12	17	16					45	女			4	1		5			0											合計				2	2	17	2	1	0	24	2	2	4								141
	区分 学校名	へき地級					学級数	男女別	教 員 数							職 員 数		学 年 別 児 童 ・ 生 徒 数 内 訳																																																																																																																																
校長			教頭	教諭	養護教諭	栄養教諭			講師	計	事務職員	用務員	計	学級区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計																																																																																																																													
中頓別小学校	2	6	男		1	3		1		5		1	1	単式学級	15	15	17	19	15	15	96																																																																																																																													
			女	1		5	1		7	1		1																																																																																																																																						
中頓別中学校	2	3	男	1	1	5			7	1	1	2	単式学級	12	17	16					45																																																																																																																													
			女			4	1		5			0																																																																																																																																						
合計				2	2	17	2	1	0	24	2	2	4								141																																																																																																																													
	教職員健康診断実施	<p>教職員の健康管理のため、次の健康診断を実施し疾病の早期発見に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>診察</th> <th>胸部X線</th> <th>血圧測定</th> <th>尿検査</th> <th>聴力検査</th> <th>心電図検査</th> <th>血液検査</th> <th>胃部X線</th> <th>人間ドック</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17人</td> <td>17人</td> <td>17人</td> <td>16人</td> <td>5人</td> <td>7人</td> <td>17人</td> <td>4人</td> <td>3人</td> <td>103人</td> </tr> <tr> <td>29,580</td> <td>11,050</td> <td>3,570</td> <td>3,680</td> <td>2,250</td> <td>9,450</td> <td>71,400</td> <td>17,000</td> <td>51,910</td> <td>199,890</td> </tr> </tbody> </table>	診察	胸部X線	血圧測定	尿検査	聴力検査	心電図検査	血液検査	胃部X線	人間ドック	合計	17人	17人	17人	16人	5人	7人	17人	4人	3人	103人	29,580	11,050	3,570	3,680	2,250	9,450	71,400	17,000	51,910	199,890																																																																																																																		
診察	胸部X線	血圧測定	尿検査	聴力検査	心電図検査	血液検査	胃部X線	人間ドック	合計																																																																																																																																									
17人	17人	17人	16人	5人	7人	17人	4人	3人	103人																																																																																																																																									
29,580	11,050	3,570	3,680	2,250	9,450	71,400	17,000	51,910	199,890																																																																																																																																									
	児童・生徒の健康診断実施状況	<p>学校保健法に基づき、健康診断と検査を実施した。</p> <p>へき地心臓検診費国庫補助金 23,000 円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">検査別</th> <th>内科健診</th> <th>心臓検診</th> <th>尿検査</th> <th>蟯虫卵検査</th> <th>歯科健診</th> <th>脊柱側彎検診 (町村負担金)</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>実施数</td> <td>62人</td> <td>34人</td> <td>96人</td> <td>96人</td> <td>96人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>金額</td> <td>175,460円</td> <td>142,800円</td> <td>20,160円</td> <td>8,064円</td> <td>91,200円</td> <td>40,000円</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>実施数</td> <td>33人</td> <td>12人</td> <td>45人</td> <td>45人</td> <td>45人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>金額</td> <td>93,390円</td> <td>50,400円</td> <td>9,450円</td> <td>3,780円</td> <td>42,750円</td> <td>20,000円</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>就学児</td> <td>実施数</td> <td>13人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>13人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>金額</td> <td>51,870円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>12,350円</td> <td>円</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>108人</td> <td>46人</td> <td>141人</td> <td>141人</td> <td>154人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>320,720円</td> <td>193,200円</td> <td>29,610円</td> <td>11,844円</td> <td>146,300円</td> <td>60,000円</td> <td>0円</td> </tr> </tbody> </table> <p>健康診断延人数 590人 健康診断実施合計額 761,674円</p>	区分	検査別	内科健診	心臓検診	尿検査	蟯虫卵検査	歯科健診	脊柱側彎検診 (町村負担金)		小学校	実施数	62人	34人	96人	96人	96人	人	人		金額	175,460円	142,800円	20,160円	8,064円	91,200円	40,000円	円	中学校	実施数	33人	12人	45人	45人	45人	人	人		金額	93,390円	50,400円	9,450円	3,780円	42,750円	20,000円	円	就学児	実施数	13人	人	人	人	13人	人	人		金額	51,870円	円	円	円	12,350円	円	円	計		108人	46人	141人	141人	154人	0人	0人			320,720円	193,200円	29,610円	11,844円	146,300円	60,000円	0円																																																															
区分	検査別	内科健診			心臓検診	尿検査	蟯虫卵検査	歯科健診	脊柱側彎検診 (町村負担金)																																																																																																																																									
		小学校	実施数	62人	34人	96人	96人	96人	人	人																																																																																																																																								
	金額	175,460円	142,800円	20,160円	8,064円	91,200円	40,000円	円																																																																																																																																										
中学校	実施数	33人	12人	45人	45人	45人	人	人																																																																																																																																										
	金額	93,390円	50,400円	9,450円	3,780円	42,750円	20,000円	円																																																																																																																																										
就学児	実施数	13人	人	人	人	13人	人	人																																																																																																																																										
	金額	51,870円	円	円	円	12,350円	円	円																																																																																																																																										
計		108人	46人	141人	141人	154人	0人	0人																																																																																																																																										
		320,720円	193,200円	29,610円	11,844円	146,300円	60,000円	0円																																																																																																																																										

項 目	主 要 な 施 策	成 果			
総務学校教育	学校施設維持管理	項 目	小学校	中学校	計
		賃金	円	56,364 円	56,364 円
		旅費	13,000 円	57,000 円	70,000 円
		光熱水費	1,933,230 円	1,483,970 円	3,417,200 円
		燃料費	2,750,191 円	1,639,292 円	4,389,483 円
		消耗品費	725,144 円	589,158 円	1,314,302 円
		備品修繕費	154,593 円	68,702 円	223,295 円
		校舎修繕費	1,147,413 円	882,011 円	2,029,424 円
		郵便料	20,760 円	30,630 円	51,390 円
		電話料	87,960 円	97,608 円	185,568 円
		洗濯料	23,360 円	16,400 円	39,760 円
		器楽調律料	22,000 円	23,000 円	45,000 円
		環境・水質検査手数料	42,080 円	42,080 円	84,160 円
		カーペット清掃料	103,523 円	円	103,523 円
		教育用ネットワークライセンス更新手数料	118,650 円	118,650 円	237,300 円
		校舎管理業務委託料	3,528,000 円	3,528,000 円	7,056,000 円
		校舎設備等点検業務委託料	804,906 円	141,286 円	946,192 円
		体育館耐震改修委託料	円	3,045,000 円	3,045,000 円
		スキーリフト使用料	164,400 円	67,500 円	231,900 円
		学校管理備品費	441,390 円	640,710 円	1,082,100 円
	テレビ聴視料	14,910 円	14,910 円	29,820 円	
	製材代	円	22,680 円	22,680 円	
		90,260 円	41,835 円	132,095 円	
	計	12,095,510 円	12,606,786 円	24,702,296 円	
	調査研究指導関係	教育研究指定校委託料		100,000 円	
		児童生徒校外指導業務委託料		100,000 円	
		特別支援教育連携協議会委託料		90,000 円	
学校体育連盟補助金			273,000 円		
中頓別町教育研究会運営補助金			262,000 円		
合 計			825,000 円		

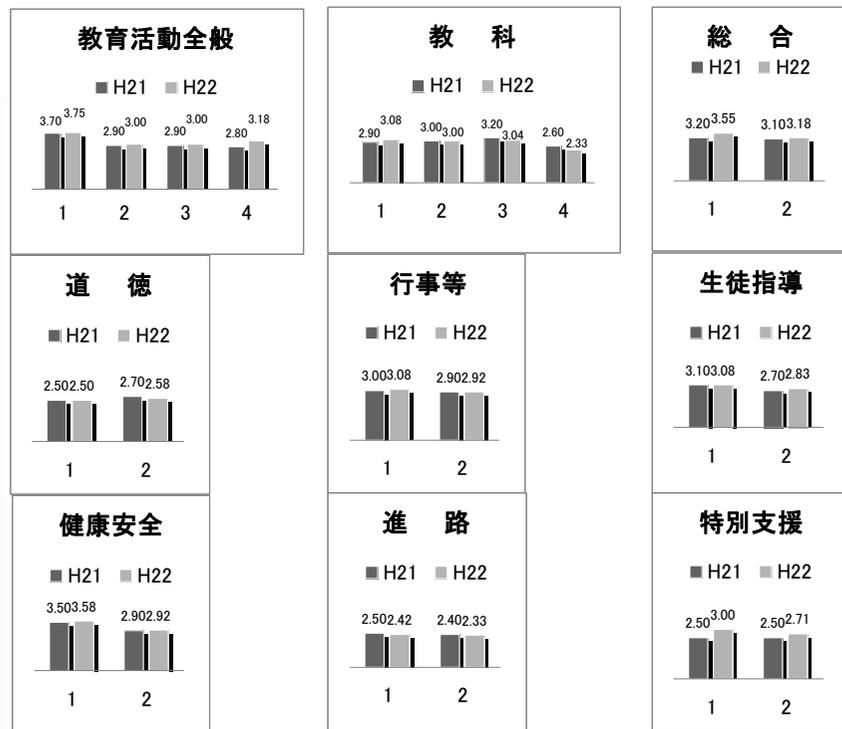
項 目	主 要 な 施 策	成 果																																																																																																		
総務学校教育	児童生徒用図書購入  要保護及び準要保護児童・生徒に対する援助	小中学校児童生徒図書購入額状況																																																																																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学 校 名</th> <th>購 入 額</th> <th>学 校 名</th> <th>購 入 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中頓別小学校</td> <td>222,771 円</td> <td>中頓別中学校</td> <td>130,543 円</td> </tr> </tbody> </table>	学 校 名	購 入 額	学 校 名	購 入 額	中頓別小学校	222,771 円	中頓別中学校	130,543 円																																																																																										
		学 校 名	購 入 額	学 校 名	購 入 額																																																																																															
		中頓別小学校	222,771 円	中頓別中学校	130,543 円																																																																																															
		要保護及び準要保護児童・生徒が援助対象となり、これら家庭の経済的理由により就学困難な児童・生徒に就学援助を行い、義務教育の円滑な実施を行なった。																																																																																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学校別 区分</th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> <th colspan="2">特別支援学級</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>給与人員</th> <th>給与額</th> <th>給与人員</th> <th>給与額</th> <th>給与人員</th> <th>給与額</th> <th>給与人員</th> <th>給与額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学用品費</td> <td>3</td> <td>44,340</td> <td>4</td> <td>102,030</td> <td></td> <td></td> <td>7</td> <td>146,370</td> </tr> <tr> <td>新入学児童・生徒学用品費</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>22,900</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>22,900</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>58,808</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>58,808</td> </tr> <tr> <td>体育実技用具費</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>36,300</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>36,300</td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>3</td> <td>144,600</td> <td>4</td> <td>224,800</td> <td></td> <td></td> <td>7</td> <td>369,400</td> </tr> <tr> <td>クラブ活動費</td> <td>1</td> <td>2,550</td> <td>4</td> <td>106,000</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> <td>108,550</td> </tr> <tr> <td>PTA会費</td> <td>3</td> <td>9,120</td> <td>4</td> <td>15,840</td> <td></td> <td></td> <td>7</td> <td>24,960</td> </tr> <tr> <td>生徒会費</td> <td>3</td> <td>13,050</td> <td>4</td> <td>19,760</td> <td></td> <td></td> <td>7</td> <td>32,810</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>3</td> <td>213,660</td> <td>4</td> <td>586,438</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>7</td> <td>800,098</td> </tr> </tbody> </table>	学校別 区分	小学校		中学校		特別支援学級		合計		給与人員	給与額	給与人員	給与額	給与人員	給与額	給与人員	給与額	学用品費	3	44,340	4	102,030			7	146,370	新入学児童・生徒学用品費			1	22,900			1	22,900	修学旅行費			1	58,808			1	58,808	体育実技用具費			1	36,300			1	36,300	給食費	3	144,600	4	224,800			7	369,400	クラブ活動費	1	2,550	4	106,000			5	108,550	PTA会費	3	9,120	4	15,840			7	24,960	生徒会費	3	13,050	4	19,760			7	32,810	合 計	3	213,660	4	586,438	0	0	7	800,098
		学校別 区分		小学校		中学校		特別支援学級		合計																																																																																										
			給与人員	給与額	給与人員	給与額	給与人員	給与額	給与人員	給与額																																																																																										
		学用品費	3	44,340	4	102,030			7	146,370																																																																																										
		新入学児童・生徒学用品費			1	22,900			1	22,900																																																																																										
修学旅行費			1	58,808			1	58,808																																																																																												
体育実技用具費			1	36,300			1	36,300																																																																																												
給食費	3	144,600	4	224,800			7	369,400																																																																																												
クラブ活動費	1	2,550	4	106,000			5	108,550																																																																																												
PTA会費	3	9,120	4	15,840			7	24,960																																																																																												
生徒会費	3	13,050	4	19,760			7	32,810																																																																																												
合 計	3	213,660	4	586,438	0	0	7	800,098																																																																																												
学校教育振興費	学校規模に応じた適切な配分により、負担の軽減を図った。																																																																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">振興費内訳</th> <th rowspan="2">総合学習用 消耗品費</th> <th rowspan="2">特別支援用 消耗品費</th> <th rowspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th>教材用消耗品費</th> <th>行事用消耗品費</th> <th>情報用消耗品費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小 学 校</td> <td>436,417 円</td> <td>244,678 円</td> <td>51,645 円</td> <td>29,780 円</td> <td>112,940 円</td> <td>875,460 円</td> </tr> <tr> <td>中 学 校</td> <td>530,195 円</td> <td>256,746 円</td> <td>33,600 円</td> <td>39,025 円</td> <td>0 円</td> <td>859,566 円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>966,612 円</td> <td>501,424 円</td> <td>85,245 円</td> <td>68,805 円</td> <td>112,940 円</td> <td>1,735,026 円</td> </tr> </tbody> </table>	区分	振興費内訳			総合学習用 消耗品費	特別支援用 消耗品費	合 計	教材用消耗品費	行事用消耗品費	情報用消耗品費	小 学 校	436,417 円	244,678 円	51,645 円	29,780 円	112,940 円	875,460 円	中 学 校	530,195 円	256,746 円	33,600 円	39,025 円	0 円	859,566 円	合 計	966,612 円	501,424 円	85,245 円	68,805 円	112,940 円	1,735,026 円																																																																				
区分	振興費内訳			総合学習用 消耗品費	特別支援用 消耗品費				合 計																																																																																											
	教材用消耗品費	行事用消耗品費	情報用消耗品費																																																																																																	
小 学 校	436,417 円	244,678 円	51,645 円	29,780 円	112,940 円	875,460 円																																																																																														
中 学 校	530,195 円	256,746 円	33,600 円	39,025 円	0 円	859,566 円																																																																																														
合 計	966,612 円	501,424 円	85,245 円	68,805 円	112,940 円	1,735,026 円																																																																																														
スクールバス関係	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>1号車(10人乗り)</th> <th>2号車(29人乗り)</th> <th>5号車(10人乗り)</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>燃料費</td> <td>200,712 円</td> <td>282,105 円</td> <td>300,047 円</td> <td>782,864 円</td> </tr> <tr> <td>修繕料</td> <td>11,525 円</td> <td>39,452 円</td> <td>44,675 円</td> <td>95,652 円</td> </tr> <tr> <td>車検経費</td> <td>円</td> <td>208,320 円</td> <td>77,175 円</td> <td>285,495 円</td> </tr> <tr> <td>自賠責保険料</td> <td>円</td> <td>13,840 円</td> <td>22,470 円</td> <td>36,310 円</td> </tr> <tr> <td>定期点検料</td> <td>円</td> <td>91,150 円</td> <td>31,300 円</td> <td>122,450 円</td> </tr> <tr> <td>重量税</td> <td>円</td> <td>30,000 円</td> <td>50,000 円</td> <td>80,000 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>212,237 円</td> <td>664,867 円</td> <td>525,667 円</td> <td>1,402,771 円</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	1号車(10人乗り)	2号車(29人乗り)	5号車(10人乗り)	計	燃料費	200,712 円	282,105 円	300,047 円	782,864 円	修繕料	11,525 円	39,452 円	44,675 円	95,652 円	車検経費	円	208,320 円	77,175 円	285,495 円	自賠責保険料	円	13,840 円	22,470 円	36,310 円	定期点検料	円	91,150 円	31,300 円	122,450 円	重量税	円	30,000 円	50,000 円	80,000 円	計	212,237 円	664,867 円	525,667 円	1,402,771 円																																																											
項 目	1号車(10人乗り)	2号車(29人乗り)	5号車(10人乗り)	計																																																																																																
燃料費	200,712 円	282,105 円	300,047 円	782,864 円																																																																																																
修繕料	11,525 円	39,452 円	44,675 円	95,652 円																																																																																																
車検経費	円	208,320 円	77,175 円	285,495 円																																																																																																
自賠責保険料	円	13,840 円	22,470 円	36,310 円																																																																																																
定期点検料	円	91,150 円	31,300 円	122,450 円																																																																																																
重量税	円	30,000 円	50,000 円	80,000 円																																																																																																
計	212,237 円	664,867 円	525,667 円	1,402,771 円																																																																																																

平成22年度 中頓別小学校 先生たちの自己評価 結果と分析

(評価は、平均値が、3.2より大きいと◎=よい、2.5より小さいと△=要努力、それ以外は○=普通)

	内 容	H21	H22	評価	H21との比較	平均値(大項目)	評 価(大項目)
教育活動全般	1 子どもの興味関心を大事にし、中頓別のよさを生かした教科や総合的な学習の時間の充実に努力している。	3.70	3.75	◎	0.05	3.23	◎
	2 教科ごとにバランスよく授業時数を確保している。	2.90	3.00	○	0.10		
	3 家庭や地域と連携をとり、命を大切に作る心や感動する心を育てる教育活動の充実に努めている。	2.90	3.00	○	0.10		
	4 子どもに合わせて、個別指導やグループ指導等ができるようにした。	2.80	3.18	○	0.38		
教科	1 基礎・基本の定着をめざした授業を行う。	2.90	3.08	○	0.18	2.86	○
	2 よりわかりやすい授業づくりのために教材を作ったり、コンピュータ、図書室などを活用する。	3.00	3.00	○	0.00		
	3 普段の授業で課題になることを解決していく先生方の校内研修を充実させる。	3.20	3.04	○	▲ 0.16		
	4 町外で開かれる各種研究会や研修会に積極的に参加している。	2.60	2.33	△	▲ 0.27		
総合	1 子どもの好奇心を引き出し、進んで学習に取り組む指導に努める。	3.20	3.55	◎	0.35	3.36	◎
	2 学習の様子をたしかにつかみ、子どものよさを伸ばす評価の工夫に努める。	3.10	3.18	○	0.08		
道徳	1 物事の良し悪しが身につくような資料の工夫や、指導の改善を行う。	2.50	2.50	○	0.00	2.54	○
	2 学校として統一した指導ができるような、指導計画を学級ごとに作っていく。	2.70	2.58	○	▲ 0.12		
行事等	1 仲間とともに自分らしさを発揮できるクラブ活動や行事を行う。	3.00	3.08	○	0.08	3.00	○
	2 子どもの活動の様子をとらえる評価の工夫に努める。	2.90	2.92	○	0.02		
生徒指導	1 家庭と地域と連絡を密にし、問題行動や事故を未然に防ぐよう努める。	3.10	3.08	○	▲ 0.02	2.96	○
	2 子どもの悩みや問題行動を早くは発見する教育相談体制をつくる。	2.70	2.83	○	0.13		
健康安全	1 交通安全教育・防災教育など安全についての学習、性教育や喫煙防止などの保健指導をしっかり行う。	3.50	3.58	◎	0.08	3.25	◎
	2 子どもが自分の健康や安全への意識を高める指導の工夫に努める。	2.90	2.92	○	0.02		
進路	1 学年に応じて進路を選ぶ力を育てたり、将来の生き方や進路を考えさせる指導の充実に努める。	2.50	2.42	○	▲ 0.08	2.38	△
	2 資料やいろいろな情報を使い、計画的で継続的な進路相談を充実させる。	2.40	2.33	△	▲ 0.07		
特別支援	1 子ども持っている力を高め、生活や学習の苦手なところを直す指導に努める。	2.50	3.00	○	0.50	2.85	○
	2 子どもの求めていることを的確につかみ、効果的な指導をめざして一人一人に応じた指導計画を作る。	2.50	2.71	○	0.21		
	平 均 値	2.89	2.95	○	0.06		

《平成21年度との比較》



【分析】

■教育活動全般  
・高い評価である。特に、中頓別のよさを生かした教育について評価が高い。また、個別指導やグループ指導等の評価について、評価の伸びが大きい。今後も更に推進していくことを期待したい。

■教科  
・おおむね良い評価である。しかしながら、普段の授業の研修(現職教育など)を充実させる必要がある。また、各種研修会への参加は、資質向上に直接結びつくので、参加を促していきたい。

■総合  
・子どもの知的好奇心を導き出し、計画と実践が結びついた高い評価である。次年度は、再スタートの年となるので、今後の実践に期待したい。

■道徳  
・全体的に低い評価である。道徳の時間を要として、学校の教育活動全体を通して、道徳実践力の向上に努めたい。また、指導計画は一目で分かる「全体計画」を活用するようにしたい。

■行事等  
・おおむね良い評価である。行事に対する評価については、各行事で統一したいいつでも使える評価を設定するなどの工夫が必要である。

■生徒指導  
・おおむね良い評価であるが、未然防止に立った積極的な生徒指導を推進させたい。

■健康安全  
・高い評価である。これからも、「おはよう調べ」「性教育」など、健康安全指導を充実させていきたい。

■進路  
・低い評価である。小学校における「キャリア教育」を共通理解し、推進していく必要がある。

■特別支援  
・おおむね良い評価である。PT事業活用や校内体制が整い、機能している。今後は、個に応じた指導計

平成22年度 中頓別小学校 保護者による教育活動アンケートの結果と分析

\*回収率は88.2%。昨年よりも0.9ポイントの微増。

	項目内容	A	B	C	D	空欄	評定
1	明るく元気な子（学校教育目標1）に育っていると思いますか。	21	39	0	0	0	3.4
		35.0%	65.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
A・Bの合計が、100%と高く、保護者の方の「明るく元気な子」の目標に対する評価は、高い。あいさつ運動等の取組や地域の中での子どもたちの姿が、保護者から見て明るく元気の良い姿が見られたと考えられる。参観日等での授業の様子などもこの様な評価の観点となっていると考えられる。							
2	仲良く助け合う子（学校教育目標2）に育っていると思いますか。	15	37	8	0	0	3.1
		25.0%	61.7%	13.3%	0.0%	0.0%	
A・Bの合計が、昨年度は80.0%と一昨年度に比べ8.1%の減となったが、今年度は86.7%と6.7ポイント増となった。 全体的に、掃除や行事の取組などにおいて、上級生がリーダーとなって助け合いの姿勢を見せた結果、「仲良く 助け合う」児童をほぼ達成していると考えられる。今後も児童理解を中心に据え、行事や縦割り班活動などを活用し、集団性の育成や協力的・協調性など家庭との連携も視野に入れた取組を意識的に継続していく必要がある。							
3	よく考え工夫する子（学校教育目標3）に育っていると思いますか。	6	38	15	0	1	2.8
		10.0%	63.3%	25.0%	0.0%	1.7%	
一昨年度、昨年度と同じ2.8の評定となった。 児童の実態を十分に踏まえ、教育の今日的課題ともなっている「思考力の育成」に重きを置いた実践が必要である。すなわち、問題解決的な学習を中心として、基礎・基本を習得するとともに、それらを活用して思考力・判断力・表現力を育てる指導の充実が不可欠である。							
4	ねばり強くやりぬく子（学校教育目標4）に育っていると思いますか。	5	32	21	1	1	2.7
		8.3%	53.3%	35.0%	1.7%	1.7%	
昨年と同様の2.7評定となり、昨年度とほぼ変わらないが、運動会や駅伝マラソンなど行事などの取組が、保護者に評価されていると考えられる。来年度もこれらの取組を継続していくとともに、教科等の学習においても、「粘り強く考える」姿勢を育てていく必要がある。							
5	学校は教育方針を伝えていると思いますか。	9	40	8	0	3	3.0
		15.0%	66.7%	13.3%	0.0%	5.0%	
A・Bの合計が81.7%と高い評価である。 学校便り・学級通信などを通して学校の様子など伝えているとともに、個人懇談週間・参観日などでの全体懇談等、保護者と話す時間を確保しながら進めてきていることが評価されている。 今後行われる「中小の教育を考える懇談会」の取組などを通して、保護者の意見なども取り入れていく場を設定していく。							
6	学校は、保護者の願いや期待に応えていると思いますか。	6	42	10	0	2	2.9
		10.0%	70.0%	16.7%	0.0%	3.3%	
80.0%の保護者の方から高い評価を頂いた。 学級会・家庭訪問等、保護者からの要望や願いなど、見える形で改善を図っていくことが今後大切になってくる。							
7	学校は、家庭への連絡をきめ細かく行なっていると思いますか。	12	34	11	1	2	3.0
		20.0%	56.7%	18.3%	1.7%	3.3%	
A・Bの合計が、86.7%と高い評価を頂いた。 学級便りや学校便り、家庭への電話連絡等を通して子どものことを中心にしたきめ細かな連携をとっていると評価して頂いた。							
8	学校行事の時期や回数などは適切でしたか。	15	38	6	1	0	3.1
		25.0%	63.3%	10.0%	1.7%	0.0%	
A・Bの合計が90%近く、高い評価を頂いた。 「中小の教育を語る懇談会」のような機会に、本校の学校行事に対する方針を理解して頂くとともに、保護者の意見を真摯に受けとめ行事の見直しに生かしていくことが大切と考える。							
9	子どもたちは、楽しく学習をしていると思いますか。	14	37	7	0	2	3.1
		23.3%	61.7%	11.7%	0.0%	3.3%	
A・B合計が85.0%と高い評価を頂いた。 今後とも授業や生活の中で生き生きとした児童の育成を目指して推進していき、それが学力向上にもつながるようにしていく必要がある。							

10	地域の特色を生かした学習をしていると思いますか。	22	35	1	0	2	3.4
		36.7%	58.3%	1.7%	0.0%	3.3%	
A・Bの合計が95%と大変高い評価を頂いた。総合的な学習の時間を中心とした取組や学校支援地域本部事業の活用などが評価頂いていると考えられる。次年度も継続していきたい。							
11	基礎的・基本的な力は身に付いていると思いますか。	9	40	10	1	0	3.0
		15.0%	66.7%	16.7%	1.7%	0.0%	
A・B合計が81.7%と昨年の評価（69.1%）より相当高くなった。不十分という保護者も27.2%から18.4%とかなり減った。今後も基礎・基本の定着に向けた実践を継続し、それらを活用して思考力・判断力・表現力を伸ばしていきたい。							
12	子どもたちの心は豊かになっていると思いますか。	12	40	7	0	1	3.1
		20.0%	66.7%	11.7%	0.0%	1.7%	
A・Bの合計が86.7%と昨年より6.4ポイント高い評定となった。総合的な学習の時間や外部講師の活用など多くの人と出会う経験を通して心情の育成を図ってきた結果と考えられる。今後も引き続き実践していき、教育活動全体を通して、道徳教育の充実を図ってきたい。また、「全校読書」や「お礼活動」等を今後も推進していきながら、人と人との関わりを更に充実していく必要がある。							
13	健康維持・体力向上のための活動をしていると思いますか。	16	31	12	0	1	3.1
		26.7%	51.7%	20.0%	0.0%	1.7%	
A・Bの合計は昨年の80.0%に比べ、78.4%と若干下がってはいるが、ほぼよい評価を頂いている。駅伝大会や日常の体力づくり等の取組の結果と考えられる。駅伝大会や小学生マラソン大会は、体力向上の取組として今後も続けていく必要がある。							
14	学校は、子ども一人一人の個性を把握していると思いますか。	4	38	15	1	2	2.8
		6.7%	63.3%	25.0%	1.7%	3.3%	
A・Bの合計が70.0%と昨年より4.6%ポイント減である。個人面談週間の取組や学級懇談会終了時の対応など、保護者との交流できる機会が設定されていることや、保護者と相談したことによって児童の変容があった時などの交流など、日常的な家庭との情報交換がお互いの信頼関係へとつながっていくことになる。「子ども交流」の充実や交流の焦点化を図りながら、次年度も推進していくことが必要ではないか。							
15	子どもたちの悩みや問題について、学校や先生は適切に関わっていると思いますか。	4	39	13	3	1	2.7
		7.3%	70.9%	23.6%	5.5%	1.8%	
A・Bの合計が78.2%と昨年（65.5%）よりも12.7ポイント高く、昨年よりもかなりよい評価を頂いた。日常の生徒指導における即時的な対応や個人面談、児童アンケート等の取組が評価されたと考えられる。今後も更に取組を続け、子どもの内面に迫るカウンセリング・マインドを生かした指導を続けていきたい。							
16	生命を大切にする心や社会のルールを守る教育をしていると思いますか。	12	43	5	0	0	3.1
		20.0%	71.7%	8.3%	0.0%	0.0%	
一昨年度、昨年度、今年度と年々高い評価を頂いている。今年度はA・Bの合計が91.7%とかなりよい評価である。青空教室、性教育、薬物乱用禁止教室、禁煙教室、住友院長「命の授業」、更に今年度は旭川医大生による健康教育等を通して、保護者の関心も高まったように思う。自転車の乗り方、校外での遊び方等、家庭地域と連携した取組をこれからも進めていく。							
17	保護者同士で子育てについて話し合う機会がありますか。	5	27	22	5	1	2.5
		8.3%	45.0%	36.7%	8.3%	1.7%	
A・Bの合計が53.3%と昨年と比べ4.9ポイント低い評価であった。忙しい生活を反映しているためと考えられるが、学校としては、学級懇談会の持ち方を工夫するなど、子育てについて意図的に話し合やすくする工夫もしていきたい。また、PTAレクなどを通してPTA会員同士の交流を深め親同士の連携を深めたい。							
18	学校へ気楽に来たり、相談できますか。	6	26	21	6	1	2.5
		10.0%	43.3%	35.0%	10.0%	1.7%	
昨年度と同様、高い評価とはいえないが、「開かれた学校」をめざし、保護者の方にも授業参観や日常の活動など、積極的に関わって頂けるような運営に努めると共に、学校に来やすい雰囲気づくり、環境づくりに努める。							

## 自分でつける授業のがんばり～授業評価～

評価内容	学年・教科		3年国語	3年算数	4年国語	4年算数	5年国語	5年算数	6年国語	6年算数
	1	私は(ぼくは), チャイムが鳴るまでに授業の用意をしています。		4.18	4.41	3.63	3.63	3.43	3.79	3.53
2	私は(ぼくは), 忘れ物をしていません。		4.18	4.18	3.58	3.74	3.64	3.71	3.27	3.20
3	私は(ぼくは), その時間に何を学習するか分かっています。		4.29	4.65	3.42	3.58	3.43	3.86	3.53	3.93
4	私は(ぼくは), 先生の説明や指示をしっかり聞いています。		4.35	4.35	3.89	4.11	3.43	3.79	3.67	3.53
5	私は(ぼくは), 板書の内容をノートに書いています。		4.76	4.88	4.74	4.79	4.50	4.50	4.33	4.47
6	私は(ぼくは), 先生の注意を聞いて直しています。		4.53	4.65	4.16	4.16	3.71	4.14	3.67	3.87
7	私は(ぼくは), 分からないところ(こと)を分かるように努力しています。		4.53	4.71	3.84	4.05	4.00	4.07	3.67	3.93
8	私は(ぼくは), 自分の考えや意見を発表しています。		3.82	4.12	3.47	3.37	3.21	3.50	3.60	3.67
9	私は(ぼくは), 友達の考えや意見を聞いています。		4.18	4.41	4.05	4.26	3.64	4.00	3.60	3.80
10	私は(ぼくは), やる気をもって授業を受けています。		4.41	4.76	4.11	4.00	3.36	3.86	3.53	3.73
☆	私は(ぼくは), TTの先生に聞いたり教えてもらったりしています。			4.47		3.89		2.93		4.07

◆子どもたちは, 自分なりにがんばっていると評価しているが, 学年が上がるに従って, 点数が低くなっている項目もある。それらの項目については, その項目を重点的に指導していき, 評点を上げるようにしていく必要がある。

## 子どもたちから見た先生のがんばり～授業評価～

	評価内容	学年・教科		3年国語	3年算数	4年国語	4年算数	5年国語	5年算数	6年国語	6年算数
		3年国語	3年算数	4年国語	4年算数	5年国語	5年算数	6年国語	6年算数		
1	先生は、よい授業をするための準備をしています。	4.88	4.82	4.79	4.84	4.43	4.29	4.47	4.40		
2	先生は、忘れ物をしていません。	4.82	4.94	4.00	4.00	3.71	4.00	4.00	4.13		
3	先生は、その時間に何を学習するか教えてくれます。	4.76	4.76	4.79	4.84	4.57	4.43	4.67	4.73		
4	先生は、分かるように説明や指示をしてくれます。	4.88	4.88	4.79	4.79	4.64	4.57	4.53	4.73		
5	先生は、板書を分かりやすく書いてくれます。	4.88	4.76	4.89	4.74	4.50	4.50	4.80	4.73		
6	先生は、集中できない時、注意してくれます。	4.59	4.76	4.79	4.79	4.50	4.43	4.73	4.73		
7	先生は、分かるまで教えてくれます。	4.59	4.88	4.79	4.84	4.21	4.21	4.47	4.53		
8	先生は、発表や意見を大事にしてくれます。	4.59	4.59	4.79	4.84	4.36	4.43	4.53	4.53		
9	先生は、みんなが発表できるように工夫してくれます。	4.76	4.88	4.68	4.63	4.07	4.43	4.40	4.13		
10	先生は、やる気ができるように励ましてくれます。	4.71	4.76	4.53	4.58	4.21	4.36	4.27	4.20		
☆	TTの先生は、分かるように力を貸してくれます。		4.76		4.58		4.71		4.80		

◆子どもたちからは、4以上の良い評価を頂いているが、新学習指導要領の完全実施に向けて、更により授業づくりに励んでいきたい。

平成22年度 学校評価(自己評価)集計結果

回収率 75%

A:満足できる B:おおむね満足できる C:どちらかといえば満足できない D:満足できない

目 標	22年度評価観点	方 策・手立て	反省・成果・課題	21年 結果	22年 結果	UP DN	自己評価			総合 教科	結果の考察・分析・改善の方向性		
							A	B	C				
居場所のある学校	1	より良い教育環境整備を充実させるための工夫・改善がなされている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月ごとの安全点検の実施による校舎等修繕</li> <li>・補修箇所の把握をしている。</li> <li>・各学年教室の机、イスの交換、図書館の整備、体育館の照明交換をしている。</li> <li>・PTAガラス清掃や教室整理整頓、展示物や表示の工夫、全校生による1F廊下のガラス拭きをしている。</li> <li>・教育条件の整備に向け施設</li> <li>・備品等の現状と課題を把握し職員間で共通化をはかっている。</li> </ul>	<p>○毎月の点検がしっかりなされており、修繕や補修が藤井さんの手により迅速に行われている。古い校舎にもかかわらず、教育環境を整え大切にきれいに使う努力をしている。</p> <p>○24年度新学習指導要領実施に伴い、教材教具の計画的整備を進める必要がある。</p> <p>●生徒の作品を掲示・展示することは大変重要であり、必要なことである。ただし一定期間経過したら新しくすすう徹底できたらよい。</p>	3.3	3.3	↘	2	6	0	A	73.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎は古いですが、安全点検を毎月行っており教育環境づくりへの努力がなされている。</li> <li>・校舎内の掲示に関して、一定期間経過後に貼り替え等を徹底などメリハリがあるとよい。</li> </ul>
	2	学級活動や生徒会活動等において、生徒の意欲や良さ、可能性が引き出されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会による体育館使用のルールづくりやペットボトルのキャップ集め等、自主的な活動の創造をしている。</li> <li>・各学級において独自の係活動の設置・掲示活動の実施・学級レクの企画・運営をしている。</li> <li>・部活動でミーティングの実施等自主的な活動をリーダーを中心に行っている。</li> </ul>	<p>○各学級の掲示物は充実しており、それぞれ工夫がなされている。</p> <p>○生徒会が自主的な活動を新たに創造しているわけではないが、非常に熱心に活動している。</p> <p>●生徒会の活動によって自治の力がついているのか検証しつつ、部活・学級活動も含め様々な場面における討議づくりを通し、自分たちで問題を解決する力を養成する必要がある。</p>	3.3	2.6	↘	0	5	3	B		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会の自主活動の創造は多くはないが、活動は熱心に行っている。</li> <li>・自らの問題は自らの手で解決する気風を生徒会や各学級で育むこと、また、これまでの活動を振り返り、自治力が形成されているかを検証することも必要。</li> </ul>
	3	行事は指導のねらいが明確化され、生徒が企画運営に参加する取り組みになっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会における生徒会種目の企画・運営をしている。</li> <li>・学校祭における独自企画（幕間の抽選会）の実施をしている。</li> <li>・生徒会企画のレクの実施や地域行事への参加を行っている。</li> <li>・卒業式、入学式のメッセージや開場装飾等を生徒会を中心に取り組んでいる。</li> </ul>	<p>○運動会における生徒会種目の企画も学校祭の幕間も生徒会中心に自分たちで創りあげ、しっかりと企画・実践出来ている。また、地域行事への参加については、ヨサコイの参加生徒数も多く、生徒達の頑張りがよくわかる。</p> <p>●生徒会を中心に動く体制が整っている。さらに、2との関連において、生徒が考え、実行できる内容を上げていきたい。中中のカラーをもっと出す工夫も必要。（文化面での向上）</p>	3.3	3.3	↘	2	6	0	A		<ul style="list-style-type: none"> <li>・いくつかの行事の中では生徒会が中心となって動く体制ができています。</li> <li>・時間確保の関係上容易なことではないが、今後、生徒自らが考え、実行する内容を多くしていく事も必要。</li> </ul>
	4	生徒一人ひとりに存在感や有用感を実感させ、互いに認め、助け合い、共に高め合う学級運営がなされている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級のねらいや課題を明らかにし、職員会議等で共通理解を図る学級経営を行っている。</li> <li>・学級の一人ひとりに個人や学級全体の目標を理解させる学級経営をしている。</li> <li>・道徳や特活の時間を有効に活用し、意欲を高め、いじめのない、心のよりどころとなる学級経営をしている。</li> <li>・学校行事を通じ、一人ひとりの役割や互いに協力する姿勢を高めさせる学級経営を行っている。</li> </ul>	<p>○各場面で一人ひとりが役割を持ち、責任を持ってやり遂げさせる学級経営が行われている。</p> <p>●年度の初めから見ると各学級の雰囲気は落ち着いてきている。いじめについては、生活状況アンケートから改善方向に向かっていくのは明らかである。ただ、アンケートで確認できるいじめは全てではないため、全職員で情報を収集する必要もある。</p> <p>●事後指導は良くできているが、早期発見と指導に向け学年部会での方針の確かめと実践、節毎の指導の重点の具体化を図ることが必要。</p>	2.7	2.6	↘	0	4	3	B		<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通理解が十分でないと感じられる場面があり、より具体的な提案や共通化の努力が必要。</li> <li>・いじめは、定期的な取り組みとして何ができるか、検討することも必要。</li> <li>・生徒の人間関係把握に努めると共に、部会で方針の確かめや節毎の指導重点の具体化を諮ることも必要。</li> </ul>
目指す学校像 働きがい	5	教職員の経営参加意欲を高める協働体制が確立されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議、分掌会議、学年会議などにおいて意見や考えが表明できる。</li> <li>・一人ひとりがそれぞれの役割を自覚し、協力して教育活動に従事できている。</li> <li>・一人ひとりがお互いに認め合い、一つの方向に向け手順の確認や行動が素早く行っている。</li> </ul>	<p>●分担主義ではない、一人ひとりが全体を見通して動ける力をつけることが必要。また、抱えこまない意識づくりや抱え込まない雰囲気・環境をつくることも必要。</p> <p>●重要な事柄については、十分に時間をかけ討議をすることも必要。</p> <p>●学校全体が進む方向性を明確にするためにいっそうの分掌内連携（スピード、透明化）が必要。教務部がさらにリーダー性を発揮することも必要。</p>	3.1	2.5	↘	0	4	4	B	64.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分担主義的傾向がないかどうか、振り返る必要有り。</li> <li>・一人ひとりが全体を見通して動く力量をつけること、その際、管理職の先生方の役割発揮も大切。</li> <li>・学校全体がどのように進んでいるか教務を通して周知する環境の徹底化を図ることも必要。</li> </ul>
	6	校務分掌は、教育目標の達成を目指すうえで効果的に組織されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人員の配置が適切に行われている。</li> <li>・業務の業務が偏り無く分担されている。</li> <li>・教務部、指導部、総務部、事務部で十分な連携が行われている。</li> </ul>	<p>●分掌間、分掌内で連携がとれているようでとれていない部分がある。運営会議のあり方や分掌の構成について見直しも必要。</p> <p>●組織としての分掌の機能が発揮されなければならない。(5と関連)</p>	2.5	2.4	→	0	3	5	B		<ul style="list-style-type: none"> <li>・分掌間の十分な連携にむけ、分掌内の機能化・組織化も必要(5と関連)。</li> </ul>
	7	諸会議は必要最低限の範囲で開催され、効率的に運営されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議の準備や資料保存を簡略化する工夫を行い、会議時間は短縮化を目指して実施している。</li> <li>・職員会議、分掌会議、学年会議、部活動顧問会議、PTA専門部担当会議等が時間外勤務時間縮減の観点で空き時間等を活用するなどして実施されている。</li> </ul>	<p>○校内LANでの会議によって職員会議時間は短縮されているが、資料集約日に全提案がそろわない等ペーパーレス化による弊害もあり、その解決が必要。</p> <p>●会議時間の短縮に向け、検討内容の明確化と資料の準備(しっかりと読むなど)が必要であるが、機械的な削減・短縮にならないように意識することが必要。(5との関連)</p> <p>●ペーパーレス化は良い面もあるが、行事の時などはペーパー化する必要がある。</p>	2.7	2.9	↗	2	3	3	B		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議のペーパーレス化をすすめることができた一方、提案物の準備が不十分な面もある。検討内容の明確化・検討事項を意識した提案の仕方も必要。</li> </ul>

目 標	2 2 年度評価観点	方 策・手立て	反省・成果・課題	21年 結果	22年 結果	UP DN	自己評価				総合 教科	結果の考察・分析・改善の方向性	
							A	B	C	観点 別			
開 か れ た ・ 信 頼 さ れ る 学 校	8	教育目標や経営方針が保護者や地域に理解され、協力が得られている。	・PTA総会、学級・学校懇談会が計画的に設定され、学校便り、保健便り、学級だより、その他のお知らせ文書で趣旨を伝えている。 ・「生徒一人ひとりが豊かな教育環境で生き生きと学ぶ学校づくり」に向けPTA活動の充実が図られている。	○各お知らせ文書が定期的に発行され、学校の教育活動の様子が親・地域にわかりやすく伝えられている。 ●学級懇談会の内容のいっそうの工夫やPTA組織としての活動の充実に向け検討の必要がある。	3.2	3.4	↗	3	5	0	A	79.7	・PTA活動の充実が検討課題。
	9	「内外に開かれた学校づくり」が推進され、学校評価は保護者・地域の方々にもわかりやすい内容になっている。	・保護者や地域に対しては、公開授業、学校評議員会の開催や生徒・保護者アンケートの実施、学校評価アンケートの公開を行っている。また、学校評価委員会を開催し、学校関係者評価を実施している。 ・教職員に対しては、連携調整ボードの活用、部活外部コーチとの連携 ・打合、研修報告の環流、校内LANの活用、日刊の活用、連絡等の文書閲覧、などを通して共通理解を図る見える化の工夫を行っている。	○地域の中の学校という意識の下に開かれた学校づくりが行われていると思う。 ●自己評価のさらなる整理を行ない、関係者にもわかりやすいものにする必要がある。 ●印刷機の故障と職会ペーパーレス化によるのか、見える化の点で課題がある。	2.9	2.6	↘	0	5	3	B		・外に向けて開く努力が行われている一方で、内に向け見える化が滞っている面がある。
	10	学校の安全管理及び危機管理意識が高まり、それに対する計画的且つ組織的な備えができています。	・全職員で月の初めに校内全ての箇所について点検し、問題があれば修理・修繕を行っている。また、防災訓練（火災・地震）なども計画的に行っている。	○防災訓練の煙の演出が良かった。次年度も実体験できるものを。 ○安全点検・管理については、意識的・計画的に行われている。安全点検をきっかけに担当箇所以外も気づいたら声に出す習慣もできた。今後も継続を。	3.5	3.8	↗	6	2	0	A	BO	・安全管理については、計画的・組織的に行われている。安全点検は今後も継続が望まれる。
	11	学級経営や生徒指導は、保護者や地域から理解され、連携や協力が得られている。	学級通信の発行、家庭訪問、学級懇談会、学級PTA役員会、学校支援地域本部、PTA役員会、保護者への迅速な連絡、部活動保護者会の開催、地域行事への参加、こまめな電話連絡などを行っている。	○丁寧に取り組みされており、学校の信頼につながってきている。 ●服装の指導を含め、過去のものから変えるには前年度や4月段階でしっかり伝えていく必要がある。2学期以降では協力を得られずらい。 ●保護者への迅速な連絡に関して、多少トラブルがあった。どんな些細なことでも連絡を入れるよう全体で確認したい。	3.1	3	↘	1	4	1	B		・学校に協力的な保護者が多い一方、服装に関して理解を得られない場面も見られた。協力を求めるていく上でのタイミングのとりかたや保護者との意思疎通の仕方が必要なことを全体で確認することも必要。
知 育	12	教育課程は、生徒の実態に基づき、適切な「編成―実施―評価―改善」が行われている。	・授業時数の確保が確実にされている。 ・生徒の関心や意欲を生かす選択教科（コミュニケーション英語、選択理科・社会）を設定している。 ・移行期に向けた教育課程の反省・改善を行っている。 ・教育課程の見直しを行い、次年度に生かしている。 ・思考力や表現力、より良く伝える力を育む活動が学校行事や学級活動等に設定されている。（発表活動、作文・標語等への応募）	○厳しすぎるほどに授業時数は確保されている。 ●実践の質が今後さらに問われる。文言だけににならないようにしたい。 ●言語活動の充実を図ることが実践されているが、よりしっかりと自分の考えをまとめ発表する力をつける必要がある。	2.8	3	↗	1	5	1	B	70.8	・よりの確に自らの考えをまとめ、より良く伝える取り組みの工夫も必要。
	13	授業改善が進み、生徒にとって「わかる・楽しい」授業が実践されて、基礎基本が定着した。	・校内研修を通して意欲を高める課題学習、授業の形態、生徒への評価等の改善を進め、生徒の変容をみとっている。 ・「学習のすすめ」の作成・配布、オリエンテーションの実施、LBシートによる学習の振り返り、補充学習（3年生夏休み）を実施している。 ・町研における積極的な授業交流を授業改善に生かしている。 ・数学や英語を中心にTT指導が行われている。	○研修がしっかりと計画的に行われ、教師相互の学びの場となっている。 ●LBシートを見る限り、家庭学習をしている子としていない子のはっきりしてきている。また、親からのメッセージもなくなってきた。LBシートをどう活用していくか課題がある。 ●14含め、各々意義付けはなされているが、果たしてその通りになっているのだろうかという疑問。「強制」「拘束」的感覚にはなじめない。 ●町研における積極的な授業交流に関してより効果的な連携の仕方を考えていきたい。 ●ドリルをしっかりとやらせ、学習内容の定着を図るなど、「よりわかる授業」づくりが必要である。 ●校内研修等を通して、授業改善をしてはいるが、基礎基本が「定着」したかという課題は多い。	2.7	2.9	↗	0	6	1	B		・LBシートに関しては、目的と活用について再度検討も必要。 ・学習内容の定着に向けた取り組みの具体化が求められる。
	14	適切な学習支援が行われ、自学自習の態度が育成されている。	・チャレンジタイムや家庭学習課題を通して主体的な学習に向かう指導を行っている。 ・必要に応じて学習相談を行っている。 ・定期テストや夏・冬休み前に学習に関する計画を立てさせている。	●チャレンジタイムは意義や進め方について検討が必要。宿題等、家庭学習のあり方は、今後交流する必要がある。 ●取り組みがマンネリ化してしまっている。テスト前の学習の計画表も作っているのかどうか見えない。	2.7	2.6	↘	0	4	3	B	B	・チャレンジタイムの今後の取り組みに向け、これまで2年間の検証が必要。

目 標	2 2 年度評価観点	方 策・手立て	反省・成果・課題	21年 結果	22年 結果	UP DN	自己評価				総合 教科	結果の考察・分析・改善の方向性
							A	B	C	観点 別		
目指す 生徒像	15	様々な評価により、生徒の変容を的確に把握し、指導に生かしている。	・次の意欲へとつなげる成績評価、学習評価の実施をしている。 ・学習事項定着のみとりに向けた単元テストを実施している。 ・定期テストや学力テストに関わる学習支援を必要に応じて休み時間や放課後に行っている。 ・自己評価や相互評価を行い、生徒の思いや変容を受け止めている。	○学習会や放課後・朝学習など個人的に対応しているものも含め、必要に応じ学習支援を行っている。 ●本当に「生徒の思いや変容を受け止めている」かどうか。また、やる気を起こさせる指導も必要。	2.9	3.1	↗	1	6	0	B	・長期休業中の学習会、放課後や朝などの学習も含め、必要な支援を行っている。その一方で生徒の思いを受け止め、変容をみとる努力を継続することも必要。
	16	授業規律が共通理解され徹底されている。	・授業時における規律事項が生徒に理解されている。 ・授業時における規律事項が教職員間で共通理解されている。 ・授業規律がどの教科でも一定に指導されている。	●「単純に何を指導するのか」と全教職員が一言で言えるようなことを徹底させると良いのではないか。 ●時間が過ぎるにつれて教師がルーズになっていく。規律についての全体での確認・徹底が必要。	2.7	2.6	↘	0	4	3	B	・
	17	総合的な学習の時間は、計画して調べ、考えまとめる力を育てる活動となっている。	・1年：地域の人材や施設を活用し、福祉活動や地産地消を考える活動を通じて福祉教育や食育のねらいが達成できている。 ・2年：中頓別町と他地域との比較や職場体験を通し、産業教育・キャリア教育のねらいが達成できている。 ・3年：中頓別町や大都市との比較や上級学校での体験活動を通し、産業教育やキャリア教育のねらいが達成できている。	○地域と連携を密にした学習が行われている。 ●発表方法・取り組み内容等、検討が必要なおところがある。	3.1	2.9	↘	1	4	2	B	・発表方法については検討を加え、年度の早い段階で全体でおさえレベルアップを図ることも必要。
	18	道徳教育は道徳の時間を要として、組織的、計画的に行われている。	・道徳教育推進委員会を中心とした道徳の授業の推進が行われている。 ・担任、副担任の協力による授業づくりがなされている。 ・必要な資料や地域の人材などの効果的な活用がなされた。	○道徳(性教育)を学年内で輪番で行っている。 ●性教育について今年度見直す予定であったが、手をつけられなかった。 ●外部講師を積極的に取り入れたい。	2.5	2.7	↗	1	3	3	B	68.8 ・学年部内で輪番制進められている。性教育の計画見直しは必要。(24との関係有)
	19	基本的な生活習慣や望ましい人間関係づくりに向け適切な指導が行われている。	・生徒の挨拶や言葉遣い、服装、時間を守ること、身の回りの整理・整頓などについて指導している。 ・特活や道徳の時間、行事や部活動の取り組みなどを通して、適切に相手に伝え、受け止める事について考えさせている。 ・教育相談や共感的な生徒指導を充実させている。	●4月から一貫した指導が行えなかった。次年度は、今年度の反省を生かして全教職員で一致した指導ができるとよい。また、挨拶は教職員も不十分。 ●行っている指導は間違いがないが、やはり温度差やニュアンスの違いがある。 ●掃除の仕方(拭く掃除)の徹底。 ●指導以前の教師側の姿勢を正す必要あり。(教師版ベル席の徹底など)。	2.8	2.3	↘	0	2	4	B	・継続指導の必要を前提としながら、「指導の一致」や「指導の仕方の共通化」等の意味するところを全体でおさえることも必要。
	20	部活動を通して、互いに努力し、高め合う姿勢が育っている。	・ミーティングを重視し、協力して活動を進めさせる意識を高めさせるようにしている。 ・リーダーの育成や一人ひとりの目標・役割の自覚に向け、必要に応じ個別に相談活動を行っている。 ・協力し、高め合う活動となるよう準備・片付け、練習内容等に関わり、必要に応じて話し合いをさせている。	●リーダー育成のために部長ミーティングを行っても良い。 ●掃除をしっかりと行わせたい。(週1でもよいので) ●ミーティングの内容をより効果的にできるように考えていく必要を感じる。	2.7	2.7	↘	0	4	2	B	・部活動におけるリーダー育成に向け、ミーティングの持ち方に工夫を加える事も必要。
	21	自己実現や望ましい職業観を育成する指導が組織的・計画的になされている。	・1年生は高校や職業調等について調べ、将来について考える指導を行う。 ・2年生は職業体験を通じ、職業に関心を持たせ、適切な職業観を持たせる指導を行う。 ・3年生は教育相談、3者懇談等を通じ将来の職業等も考えながら主体的に進路を選択していく指導を行う。	○早い段階での進路指導を行っていることで将来の夢を持っている生徒が多い。 ○職業体験を通じ、様々な視点からの職業観を持たせることができた。 ●キャリア教育、進路指導は誰が担当になってもできるように資料整理を行いたい。 ●高校入試に特小化させないこと	3	3.3	↗	3	3	1	A	・進学に関する指導に偏ることなく、今後も進路指導(キャリア教育)を進めて行くことが大切。
22	生命の尊さの理解や他人との共生・共感を大切にする指導がなされている。	・道徳、特活を通して人権教育を行っている。 ・いじめを考えさせ、いじめがない学級づくりの指導が行われている。 ・生活状況把握アンケートの実施・分析により、いじめを考えさせ、いじめがない学級づくりの指導が行われている。 ・仲間を大切にする指導が行われている。	○各学級で生活状況アンケートに対する学級の方針を立て、指導にあたっている。 ●アンケートの実施は分析から方針化、そして形式的ではない実践の深化継続が大切。 ●道徳・特活が弱い。指導部の「命を大切にする授業」をしっかり取り組み全体のものとした。 ●男女仲良くいじめのない学校学級づくりから生徒会を中心とした自治活動の実践へ。	3.1	2.8	↘	0	6	2	B	・生活状況アンケート実施の継続は、その分析・方針化、そして指導の具体化までを組織的に進めることが求められる。 ・アンケートに頼り切らない、生徒一人ひとりの様子を「読む」教師の目を養うことや教師間の情報交換も必要。	
23	交通事故など、生徒の安全に関わる指導が適切に行われている。	・交通安全街頭指導や下校指導が地域や学校の実態に合わせて適切に行われている。 ・自転車点検や交通ルールを学ぶ青空教室が適切に行われている。 ・通学路の確認が行われている。	○十分に実践されている。 ●1ヶ月に1度の下校指導や青空教室などきちんと行われているが、降雪時の登校に関しては指導をする必要がある。	3.5	3.5	→	4	4	0	A	85.4 ・安全指導については適宜指導が行われている。降雪時の登校指導に関しては計画的指導も必要。	

目 標	2 2 年度評価観点	方 策・手立て	反省・成果・課題	21年 結果	22年 結果	UP DN	自己評価				総合 教科	結果の考察・分析・改善の方向性		
							A	B	C	観点 別				
体 育	24	心の健康及び性や薬物に関する指導が組織的計画的におこなわれている。	・生徒の悩みや不安、相談にいつでも応ええられるよう保健室機能を充実している。 ・関係機関との連携による薬物乱用防止教室や学校医健康講話を実施している。 ・保健体育担当教諭や養護教諭、学年部が連携して計画的に性教育を進めている。	○関係機関との連携はしっかりとれている。 ○悩みや不安を相談するために保健室へ来室する生徒が多く、保健室機能が充実している。 ●学習指導要領の改訂にともない、計画の組み直しが必要。今日的な性教育を考えていくことも必要。(25含め) ●性教育に関しては、学年部会では連携されており、計画的に進められている。しかし、保体教諭や養護教諭との連携はあまりされてない。	3.5	3.1	↘	1	7	0	B	A	・関係機関との連携で薬物乱用防止関連の授業は行われている。性教育の全体計画を見直す等、新指導要領実施に向けた取り組みが急がれる。	
	25	保健安全衛生・予防に関する指導が計画的に行われている。	・学校安全衛生計画が学校の実態に合っており、計画の見直しに適宜行われている。 ・生徒の自主的な活動にも位置づけ、歯磨き、うがい、手洗い、消毒の徹底ができています。 ・校内の衛生用品や清掃環境を整えている。 ・生徒の健康状態を日常的に把握すると共に、体調不良やケガ等について教師間で迅速な対応を取っている。	○健康状態を日常的に把握している。 ●はみがき・手洗いについては徹底されているが、うがい・消毒の定着はなかなか難しい。	3.5	3.6	↗	5	3	0	A		・うがい似については、定着化に向け何らかの取り組みが必要か。	
目指す教師像	研 修	26	研修計画の充実に向け、教職員一人ひとりの意見や考えが反映され、研修機会が保証されている。	・教職員一人ひとりが主体的かつ計画的に研修に参加している。 ・各教科の全道規模の研究会、北海道主催の研修会、他市町村主催の研究会等についても参加しやすい体制を取っている。	○教職員一人ひとりが自ら学ぶという意識で研修に参加しており、校外研修に参加しやすい体制も十分とられている。 ○他町村との町研とも連携し合っている。 ●還元方法を工夫すること。	3.1	3.8	↗	6	2	0	A	78.1	・研修体制、研修活動の充実については、引き続き継続を。
		27	校内研修は、教職員一人ひとりの授業力向上に生かされるよう推進されている。	・公開授業やグループ内授業研究に向けた共同研究が行われている。 ・研究授業や模擬授業が計画的に設定されている。 ・校内研修が授業力向上の視点で教職員の共通理解のもとに推進されている。 ・研修成果の整理・蓄積が進んでいる。	○研究授業(各グループ毎の授業含め)や模擬授業については、細かく計画が図られているわけではないが、1年に1回は全ての先生が公開授業をすることで成果も上げられている。 ●研修の成果を生徒に還元することで授業の質的向上図り、生徒のより確かな変容をみとめる必要がある。	3.2	3.4	↗	3	5	0	A	・校内研修に「学習内容の定着」にかかわる視点を入れることも必要(13との関連)。	
		28	研修の成果が検証され、生徒の変容が把握できる手だてが取られている。	・生徒の変容を具体的にとらえる事を意識した研修になっている。 ・授業改善に向けたアンケートが実施され、分析・活用が行われている。 ・各種テストを適切に取り入れ、各個人の研修に生かしている。	○授業改善アンケートを年2回とり、比較できた。 ●授業改善アンケートの分析・活用をしっかりと行い、結果を真摯に受け止め改善に生かすこと。	2.9	3	↗	1	6	1	B	BO	・アンケートの実施・分析・活用の方で、身近な実践に学び、生かす取り組みも必要。
		29	「中中の心得」や「生徒指導に関わる指導の実際」に関して共通理解が図られ、それに基づく指導が適切に行われている。	・校内研修で生徒指導に関する事例について研修を深めたり、共通理解を図ったりしている。 ・「中中の心得」や「生活指導に関わる指導の実際」が日常的に活用されている。	●「中中の心得」については、改善すべき点と教職員全体の共通理解を図る必要がある。 ●生徒指導に関する具体的指導などについての研修がもっと必要である。(場面に応じた適切な指導のあり方などについて研修を深めることが必要である。)	2.8	2.4	↘	0	3	5	B	・「中中の心得」の見直しにかかわり、教師側としての見直しはもとより生徒側にも考えさせる余地をつくる事も考えたい。(2との関連) ・時間確保とのかかわりもあるが、生徒指導に関連する研修内容の充実を視野に入れた取り組みも考えられる。(16・19との関	
	30	教師間で情報を共有し、問題の早期発見やきめ細やかな生徒指導体制がとられている。	・教職員間の報告、連絡、相談の徹底を行っている。 ・教職員間で情報を共有し、保護者との素早い連携が取られている。	○教職員間で情報共有を日常的にしている。 ●報告・連絡・相談の徹底化に向けそれを行わなければならない状況とそうではない状況を整理する必要がある。	3.2	2.9	↘	2	3	3	B	71.9	・報告、連絡、相談の必要性の有無が問われるのは、日常の学校の動きの中ではどのようなケースにあたるのか全体でのおさえ合いも必要。	
今日の問題に対応する教師	31	小中連携が効果的になされている。	・児童生徒の実態把握、町研の活動を通じた研究活動の交流、各分掌間で必要に応じ交流・連携を行っている。 ・年2回の小中交流会を通じ、児童生徒の実態把握、交流を行っている。 ・町教育研究サークルの活動を通じ小中の教職員が協同して交流を行っている。 ・小学校や中学校の分掌・教科の担当者が必要に応じて交流をしている。	○町研の活動から小中学校の実態はかなりの皆さんの事を交流してきている。 ●実践するかどうかが小中それぞれで共通認識が欠けている。何のためにどうするのかの土台ができていない。	2.3	2.6	↗	1	3	4	B	68.8	・小中の連携像をあらためて考えることも必要。	
	32	新学習指導要領への移行が計画的に進められている。	・新学習指導要領が求める内容について理解が図られている。 ・新指導要領完全実施に向け、移行期の教育課程が適切に編成され、完全実施に向けた見通しがつけられている。 ・教育課程編成は、生徒や保護者、地域の実態や願い、思いが反映されるものになっている。	○適切に進められている。 ●中中らしきのある特色ある教育活動の編成にむけ、校内研修で扱うことを考えてよい。 ●23年度は重点課題としておさえる必要がある。	2.5	2.9	↗	1	5	2	B	B	・24年度実施に向けた教育課程編成に向けて、「中中の教育」の根本(特色や大事にされてきたこと、したいこと)にかかわるおさえ合いも必要(同時に新指導要領の本質のおさえ合い)。	

■次の項目について、A～Dの該当する欄に○を付けてください。

A：そう思う(4)

B：どちらかといえばそう思う(3)

C：どちらかといえばそう思わない(2)

D：そう思わない(1)

番号	質問内容	21 年度	22 年度	UP DN	評価				
					A	B	C	D	
1	学校に来るのが楽しい。	3.1	3.13	→	14	17	7	1	BO
2	学校・学級は、生徒一人ひとりを大切にしている。	3	2.95	↘	9	22	5	3	B
3	授業は、学習した内容がよくわかる。	3	3	→	10	19	10	0	BO
4	授業は楽しい。	2.9	2.95	→	8	23	6	2	B
5	自分から進んで、授業・学習に取り組んでいる。	2.9	2.74	↘	7	16	13	2	B
6	学校は、あなたが困ったとき、きちんと話を聞いたり、励ましてくれる。	3	2.95	↘	11	17	9	2	B
7	先生は、よいことや努力したときに、ほめてくれる。	3.2	3.05	↘	11	19	9	0	BO
8	先生は、悪いことをしたときは、きちんと指導したり教えたりしてくれる。	3.2	3.26	↗	14	21	4	0	A
9	友達と協力して、話し合いや行事に取り組んでいる。	3.5	3.33	↘	17	19	2	1	A
10	学校で、友達とたくさん話したり遊んだりしている。	3.7	3.69	→	28	10	1	0	A
11	いやな言葉や態度、暴力などで、人から心や体を傷つけられたことがある。	2.3	1.87	↗	4	6	10	19	B△
12	いやな言葉や態度、暴力などで、人の心や体を傷つけたことがある。	1.9	2.05	↘	4	9	11	15	B△
13	学校の宿題や家庭学習を、きちんと家でしている。	2.9	2.85	↘	11	13	13	2	B
14	みんなで決めた係や役割をきちんと実行している。	3.5	3.46	→	20	18	0	1	A
15	学校のきまりや、社会のルール(交通安全など)を守っている。	3.5	3.44	↘	21	15	2	1	A
16	学校をきれいにしようと、清掃をきちんとしている。	3.4	3.28	↘	14	22	3	0	A
17	自分から、先生や友達に明るく挨拶をしている。	3.3	3.03	↘	13	15	10	1	BO
18	本を読むのが好きだ。	2.8	2.97	↘	17	9	8	5	B
19	毎日、朝ご飯を食べ、登校している。	3.8	3.82	→	34	4	0	1	A
20	学校は、進路(高校、将来の職業など)についていろいろな情報を提供したり、教えたりしている。	2.9	3.31	↘	16	19	4	0	A
21	部活動をみんなと協力して行い、技術や体力が向上している。	3.6	3.56	→	24	13	2	0	A

○チャレンジタイムはいらないと思う。寒い。

○7、8番は先生によって違いすぎて回答に困る。

○チャレンジタイムを去年みたいに教科別にしてほしい。わからない教科の先生が学級によっていないことがあるから。

○ある先生の言葉が悪かったり、授業などで機嫌が悪いととても怖くてその授業がイヤになります。そういう事をなくしてほしいです。

○先生方は、生徒一人一人の性格を理解した方がいいと思います。誰か一人の話を聞いてコトを進めるのじゃなく、みんなの話をしっかり聞いてください。

■次の項目について、A～Dの該当する欄に○を付けてください。

A：そう思う(4)

B：どちらかといえばそう思う(3)

C：どちらかといえばそう思わない(2)

D：そう思わない(1)

番号	質問内容	21 年度	22 年度	UP DN	評価				
					A	B	C	D	
1	学校は、誇れる中中をめざした特色ある教育活動に努めている。	2.7	2.86	↗	3	26	6	1	B
2	生徒は生き生きと楽しい学校生活を送っている。	2.9	3.11	↗	10	22	4	1	BO
3	学校は、地域の人材や施設・自然環境等を有効に活用した教育を行っている。	3.1	3.14	→	10	21	5	0	BO
4	先生方は、授業を工夫し意欲的に学習し生徒にとってわかりやすい授業を行っている。	2.9	2.91	→	5	22	6	1	B
5	先生方は、生徒の学力や学習・生活の様子を公平に評価している。	2.8	2.97	↗	10	18	7	2	BO
6	学校は、生徒一人ひとりを大切にしている。	2.7	3.11	↗	12	17	8	0	BO
7	先生方は、子どもの悩みや問題に適切に関わっている。	2.7	2.76	↗	7	14	16	0	B
8	先生方は、生徒の言葉づかいやふるまいなどについて、適切に指導している。	2.4	2.57	↗	5	14	15	3	C
9	学校行事は、生徒の主体的な取り組みが見られるなど、工夫されている。	3.3	3.27	→	14	20	2	1	A
10	学校は、生徒一人ひとりの個性や実態を良く理解し、一人ひとりに応じた指導を行っている。	2.6	2.89	↗	6	22	8	1	B
11	教育活動全体を通じて、生徒の優しさや思いやりの心が育ってきている。	2.8	2.97	↗	6	24	7	0	BO
12	生徒は、学校に安心して通うことができている。	3.1	3.38	↗	17	17	3	0	A
13	学校は、学校内外で起こる様々な問題に迅速に対応している。	2.9	3	↗	7	23	7	0	BO
14	生徒のプライバシーは適切に守られている。	3	3.11	↘	8	25	4	0	BO
15	学校は、授業参観や懇談会などの機会を適切に設けている。	3.3	3.39	↗	18	14	4	0	A
16	学校は、保護者への連絡や必要に応じた家庭訪問などをきめ細かく行っている。	3.1	2.78	↘	4	23	8	2	B
17	学校は、教育環境の整備に努めている。	2.9	3	↗	7	23	5	1	BO
18	先生方は、生徒・保護者の連絡や相談に誠意を持って対応している。	3	3.06	↗	9	21	5	1	BO
19	学校は、学校便りや学級通信により、学校の教育活動や生徒の様子をわかりやすく知らせている。	3.2	3.22	→	16	15	4	2	A
20	学校は、保護者・地域の方々の声や願いに応えようと努力している。	3.2	3.11	↘	10	21	4	1	BO

○できましたら、アンケートの評価欄に「わからない」を入れて欲しいです。回答が難しいです。

○参観日の出席は別にとらなくてもいいのかなあとと思います。その日にならないとわからない時もあるし、12/5も冬道がいやだなと思って欠席にしたらしい天気でも出席でも良かったと思うことがよくあります。小学校みたいに教室の前に名簿をおいて○をつける方法でよいと思うのですが。

○部活がある日の帰宅時間をもう少し早くできないか。

項目	主要な施策	成 果
幼少年教育	家庭教育支援	○ブックスタート 6ヶ月健診時に配付 13名(1人2冊) 1歳児健診、1歳半健診、3歳児検診に読み聞かせ(5/27,8/19,11/26,2/17) ○子育てメソッド事業(就学時知能検査時に情報提供) 10月28日,2月3日
	学習機会の提供	○子どもオセロ大会(子ども館と共催) 11月13日 小学生30名 ○カルタ大会(子ども館と共催) 2月20日 小中学生21チーム 60名 ○カルタ教室 1月12日～13日,2月19日 延べ180名の参加 ○少年の主張宗谷支庁地区大会 中学生1名 6月30日
	体験活動の推進	○そうや自然学校体験活動 【こども館支援】 ・ポレポレ探検隊(児童クラブ,小学生) バードウォッチング 5月29日(土) 鍾乳洞周辺 22名 児童クラブ親子レク・川であそぼう 8月7日(土) そうや自然学校周辺 31名 秋の森探索 10月25日(月) ピンネシリ岳周辺 17名 冬の森体験 3月5日(土) ふるさとの森 12名 ・認定こども園事業 春探し おたまじゃくし勉強会 6月15日(火) こども館園庭 32名 外遊び 8月11日(水) そうや自然学校(雨天のため体育館) 21名 森遊び 9月15日(水) ふるさとの森 30名 カレー作り・PTA研修会合同 10月16日(土) そうや自然学校 63名 秋のバードウォッチング 10月29日(金) ふるさとの森 15名 雪遊び1 2月24日(木) こども館園庭 31名 雪遊び2 3月7日(月) こども館園庭 25名 【中頓別いいところ探し隊】 ・バードウォッチング 5月15日(土) 鍾乳洞周辺 小学生19名 大人3名 ・とびだせ探検隊2 6月26日(土)27日(日) 幌延町 小学生7名 ボランティア2名 ・カヌー 7月17日(土) 頓別川 小学生22名 ・とびだせ探検隊3 7月24日(土)25日(日) 初山別村 小学生5名 ボランティア2名 ・むかし体験 8月29日(日) 道の駅「生活体験館」 小学生5名 ・どんぐりクラフト 11月20日(土) そうや自然学校 小学生6名 ・もちつき体験(管内シニアリーダー研修合同) 12月12日(日) そうや自然学校 50名 ・チャレンジテント泊 2月11日(金)、12日(土) そうや自然学校 小学生8名
学校支援事業	○地域指導者の支援協力(学校支援地域本部) 【小学校】 ・総合的な学習の時間「中頓別探検隊」小学3～6年生 木の花を見よう 6月15日(火)16日(水) ふるさとの森 3～6年65名 生活職人1名 蜂蜜作り・乳製品について学ぼう 7月12日(月)13日(火) 笹尾養蜂園・ピンネシリ道の駅・HARU 3～6年65名 生活職人1名 養蜂体験 8月27日(金) 小学校 3～6年65名 生活職人1名 追体験(養蜂、乳製品、木の花、酪農) 9月17日(金) 小学校 3～6年65名 生活職人3名 応援プロジェクト・ご当地グルメ 9月29日(水) 小学校 全学年95名 生活職人4名 新メニュー試作品作り 11月29日(月) 小学校 5・6年29名 生活職人11名 ・畑起こし 5月14日(金) 小学校 生活職人1名	

項目	主要な施策	成 果
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・4年生社会見学「安全なくらしとまちづくり」 5月14日(金) 中頓別警察官駐在所 児童19名</li> <li>・4年生社会見学「安全なくらしとまちづくり」 6月25日(金) 南宗谷消防組合中頓別支署 児童19名</li> <li>・百人一首の指導 5月13日(木)7月19日(木)9月16日(木) カルタクラブ9名 生活職人3名</li> <li>・親子ふれあい広場(羊毛、紙飛行機、陶芸、木工、蜜蝋、コースター) 9月26日(日) 小学校 児童72名 保護者64名 生活職人1名</li> <li>・町民文化祭絵画用動物調達 10月1日(金) 小学校 小学1・2年30名 生活職人1名</li> <li>・1年生生活科学習「昔遊び(竹トンボ・おも・お手玉・あやとり・メンコ・けんだま)」 11月26日(金) 小学校 児童15名 生活職人6名</li> <li>・スキー指導 1月25日～2月16日 全学年95名 生活職人5名</li> </ul> <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ルームギター教室 5月7日(金)5月19日(水) 中学校 生徒45名 生活職人1名</li> <li>・1年山菜とり(遠足) 6月3日(木) 敏音知周辺 生徒12名 生活職人2名</li> <li>・1年保存食のお弁当作り 8月27日(金) 中学校 生徒12名 生活職人2名</li> <li>・2年職場体験授業 11月1日(月)2日(火) 町内事業所16ヶ所 生徒17名</li> <li>・巡回相談活動「地域ルーム」 毎週木曜日 コーディネーターの派遣 教諭との連携、生徒との交流</li> </ul> <p>○学校支援地域本部事業・・・地域全体で学校支援、教員と子どもの向き合う時間を増加、住民の知識・経験や学習成果の活用機会の拡充、ひいては地域の連帯感の醸成、地域の教育力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会(地域教育協議会)・・・方針や支援内容等の協議3回(5月12日、12月14日、3月3日)</li> <li>・地域コーディネーター・・・学校とボランティア間の連絡調整等 1名</li> <li>・学校支援ボランティア(生活職人)・・・食4団体・10個人、自然体験4団体・27個人、文化スポーツ5団体・32個人 13団体、69個人</li> <li>・学校支援ボランティア養成講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>「森の素材を編む」 8月21日(土)22日(日) そうや自然学校 参加者11名</li> <li>「素材を器づくりに活かす」 9月11日(土) 創作活動施設 参加者6名</li> <li>「大人の冬キャンプ」2月5日(土)6日(日) 敏音知岳周辺 参加者6名</li> </ul> </li> <li>・学校支援地域本部事業報告会(まちづくり・生涯学習推進フォーラム)2月25日(金) 町民センター 参加者40名</li> </ul>
	子ども読書活動の推進	<p>○中頓別町子ども読書プランの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推進会議 3月8日(火) 役場 12名</li> <li>・担当者会議 第1回8月25日(水) 図書室 8名、第2回12月10日(金) 図書室 7名、第3回3月1日(火) 図書室 4名</li> </ul> <p>○図書ボランティアの活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書室での読み聞かせ 6月18日(金)</li> <li>・小学校への読み聞かせ 12月2回、2月2回</li> <li>・中学校での図書整理支援 6月1回、7月4回、8月2回、9月4回、10月4回、11月3回、12月1回</li> </ul> <p>○絵本の読み聞かせ講習会 2月27日(日) 町民センター 6名</p>
青年・成年・女性教育	学習機会提供	<p>○成人式 1月9日(日) 町民センター 当日参加者 10名</p> <p>○女性学級 上駒女性学級 町外研修、料理学習、町事業への参加</p>
高齢者教育	学習機会提供	<p>○高齢者教室「寿大学」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入学式並びに始業式 4月16日(金) 69名</li> <li>・教養講座 6月20日(日) 11名、7月18日 5名、10月1日(金) 10名、10月10日(日) 23名、11月5日(金)23名、2月2日(日)</li> <li>・町外視察研修 6月22日(火)、7月13日(火) 豊富町 52名</li> <li>・学校祭 10月29日(金)～31日(日) 文化祭に合わせて開催(作品展示、芸能発表)</li> <li>・修学旅行 9月16日(木)17日(金) 増毛、沼田町 22名</li> <li>・健康づくり講座 2月10日 「隣の晩ごはんから見える家族の絆」講師ヨネスケ氏 101名</li> </ul>

項目	主要な施策	成 果
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・サークル活動 毎週水・土曜日 寿カラオケサークル 会員25名</li> <li>・卒業式並びに修了式 3月23日(金) 名</li> </ul>
国際交流振興	学習機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>○英会話教室 日中:週2回(火曜日午後・金曜日午前)、夜間:週1回(木曜日)</li> <li>○中頓別中学校(コミュニケーション英語の指導) 毎週水曜日午前、午後</li> <li>○中頓別小学校(総合的な学習の時間等での英語指導) 毎週木曜日午前、午後</li> <li>○こども館(ポーセン先生とあそぼう) 認定こども園毎週火曜日午前、児童クラブ毎週火曜日午後</li> </ul>
芸術文化振興	芸術鑑賞機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>○巡回小劇場 8月30日(月) オズの魔法使い 172名</li> <li>○町民芸術鑑賞会 10月30日(土) 木村善幸 話太鼓公演</li> </ul>
	文化芸術への積極的参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>○町民文化祭 10月29日(金)～31日(日) 一般作品展示、一般芸能発表、第42回宗谷管内郷土芸術祭・第34回道民芸術祭「写真」</li> <li>○子ども発表会 10月30日(土) 文化祭の一環として実施</li> <li>○文化スポーツ表彰 10月30日(土) 文化奨励特別表彰:1団体 スポーツ優良賞表彰:1団体</li> </ul>
	団体の育成と活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中頓別町文化協会の活動支援(14団体)</li> <li>・やまなみ吟社(俳句)、日本詩吟学院学風会北海道学風会中頓別支部(詩吟)、日本習字中頓別支部(習字)、茶道サークル、東海林社中(華道)、陶芸サークル、絵手紙クラブ、白百合会、あかねカラオケサークル、知足会(茶道)、しあわせカラオケ会、彩北絵画クラブ、寿大学カラオケサークル、ミックスグループ</li> <li>・各種会議等の開催(総会、理事会、資金造成、文化表彰、町民文化祭)</li> <li>・単体団体の活動支援</li> </ul>
指導体制・研修・養成	各種会議・研修等への参加・派遣	<ul style="list-style-type: none"> <li>○管内社会教育指導班会議 第1回5月21日、第2回10月20日、第3回12月21日、第4回3月10日 稚内市 1名</li> <li>○管内社会教育主事会役員会 第1回4月21日、第2回11月26日 稚内市 1名</li> <li>○管内社会教育委員連絡協議会総会 5月11日 稚内市 1名</li> <li>○管内社会教育主事等研修会 第1回5月13日 利尻町 1名</li> <li>○道北部ロック社会教育主事等研修会 9月9日 豊富町 2名</li> <li>○全道社会教育主事等研修会 6月2日 札幌市 1名</li> </ul>
生涯学習の推進	生涯学習推進活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まちづくり生涯学習推進チーム会議 第1回6月14日、第2回9月10日、第3回11月19日、第4回2月18日、第5回3月10日</li> <li>○町民講座「なかとんべつ学」の取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・中頓別町の野鳥に学ぶ 5月15日(土) 鍾乳洞周辺 22名</li> <li>・中頓別町の草花に学ぶ 6月20日(日) 道の駅周辺 14名</li> <li>・中頓別鍾乳洞に学ぶ 7月18日(日) 雨天役場 10名</li> <li>・中頓別町の歴史に学ぶ 10月10日(日) 中頓別神社、松音知神社、敏音知神社 14名</li> <li>・道民カレッジ「ほっかいどう学」出前講座 11月5日(金) 保健センター 32名</li> <li>・アイヌ文化に学ぶ 2月20日(日) 町民センター 13名</li> </ul> </li> <li>○生涯学習通信「ホッと生涯学習情報通信」広報なかとんべつの紙面に掲載</li> <li>○まちづくり・生涯学習推進フォーラム(学校支援地域本部事業報告会)2月25日 町民センター 40名</li> <li>○中頓別町まちづくり・生涯学習推進本部会議 3月18日(金) 役場 11名</li> <li>○中頓別町まちづくり・生涯学習推進計画の評価の実施</li> </ul>
スポーツ振興	学習機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>《大会関係》</li> <li>○町長杯パークゴルフ大会 5月8日(土) 寿パークゴルフ場 51名</li> <li>○町民ソフトボール大会 7月25日(日) ふれあいスポーツ広場 9チーム 101名</li> <li>○夏休みラジオ体操会 7月25日(日)～8月3日(火) 郷土資料館駐車場 延べ800名</li> <li>○町民駅伝競技大会・小学校マラソン大会 9月5日(日) 敏音知から中頓別 駅伝27チーム103名 小学校マラソン1・2年30名 計133名</li> </ul>

項目	主要な施策	成 果
		<p>○宗谷地区ジュニアアルペン競技大会 1月10日(月) 寿スキー場 28名</p> <p>○寿ジュニアカップスキー大会 2月5日(土) 寿スキー場 28名 後援と運営協力</p> <p>○歩くスキー遠足 2月27日(日) 松音知～敏音知 19名</p> <p>○教育長杯室内ゲートボール大会 3月5日(土) 町民体育館 5チーム 25名</p> <p>○町民スキー大会 3月6日(日) 寿スキー場 スキー競技44名、歩くスキー15名、宝探し120名</p> <p>○町民ソフトミニバレー大会 3月23日(水)、25日(金) 町民体育館</p> <p>《教室関係》</p> <p>○カンフー教室 毎週水曜日 柔剣道場</p> <p>○少年少女スキー教室 1月12日(水)～14日(金) 寿スキー場 小学生59名 指導者17名</p> <p>○一般スキー教室 1月16日,22日,23日,30日,2月6日,11日 寿スキー場 参加者7名、指導者6名</p> <p>○歩くスキー教室 1月26日,2月2日,9日,16日,23日 藤井クロカンコース 参加者13名、指導者2名</p>
	団体育成と活動の充実	<p>○スポーツ少年団の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・剣道(14名)、野球(10名)、卓球(16名)、柔道(17名)</li> <li>・結団式及び体力テスト会 5月8日 25名 ・秋の体力テスト会 10月16日 30名 ・解団式 3月19日</li> <li>・管内スポーツ少年大会 10月9日(土)、10日(日) そうや自然学校ほか 中頓別16名、外管内12名 引率他8名</li> </ul> <p>○体育連盟の活動支援(10団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サッカー協会、バスケット協会、バレーボール協会、スキー協会、走友会、パークゴルフ協会、ゲートボール協会、野球連盟、剣道連盟、柔道連盟</li> <li>・各種会議等の開催(総会、理事会、資金造成、スポーツ表彰、体育の日記念事業) ・単位団体の活動支援</li> </ul> <p>○愛好団体の活動支援(7団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卓球愛好会、ミニバレーを楽しむ会、バトミントン愛好会、ミニバレーボール愛好会、育児婦人運動部、スポーツをしない会、一般女子バレーボール</li> <li>・各種大会の活動支援</li> </ul>
社会教育施設等の利用	社会教育施設の利用	<p>○町民センター 無料322件 6,361名、有料28件 1,817名 ○小頓別多目的集会施設 無料24件 201名、有料5件 111名</p> <p>○郷土資料館 会館日数300日 無料158名 有料140名 ○柔剣道場 175回 1,615名</p> <p>○図書室 一般2,043名、中高生245名、小学生1,788名、計4,076名 一般4,758冊、中高生109冊、小学生2,365冊、道移動図書386冊 計7,618冊</p> <p>○創作活動施設 有料10件 168名、無料165件 1,414名</p> <p>○町民体育館 454回 4,181名 ○学校体育館 100回 756名</p> <p>○山村水泳プール 63日 有料168名 無料1,450名 ○ふれあいスポーツ広場 860名</p> <p>○寿スキー場 81日 輸送人員45,503名 ○寿パークゴルフ場 2,229名</p>